

令和 7 年度

進路説明会



<説明会の流れ>

1. 開会のことば
2. 学校長挨拶
3. 進路に関する説明
4. 質疑応答
5. 閉会のことば



日時：令和 7 年 10 月 24 日（金）

14:00～

場所：2 階視聴覚室

この資料は、進路に関する令和 8 年 3 月末までの内容をまとめたものです。必要なときにすぐに確認できるように、個人の端末への保存、又はプリントアウトして保管をお願いします。

また、この資料に掲載されていない事柄や判断に困ることが生じた場合、事前に必ず担任の先生と相談・確認をした上で手続きを進めてください。

1. はじめに

◆◆◆進路の手続について◆◆◆

高等学校等への出願手続きは、公立・私立を問わず、必ず「中学校を通して行うこと」「中学校を経て提出すること」となっています。これは、「直接、各家庭から出願手続きを行うことはできない」ということを意味しています。そのため、中学校では各家庭から必要書類の提出を受けて、出願等の手続きを行うため、次のような流れで、事務手続きを行っています。

【中学校とご家庭間での進路希望の意思確認について】

- ① 生徒との相談活動（二者懇談・教育相談）
- ② 三者懇談での進路に対する相談及び生徒・保護者の意思確認
- ③ 進路希望調査、出願手続依頼書、入学意思確認書の提出

【中学校での出願等の指導、事務手続等】

- ① 学活等の時間を使い、出願手続に関わる指導及び該当生徒への面接指導
- ② 第5回進路希望調査、出願手続依頼書に基づいて募集要項等の配付及び出願時に必要な書類の作成
- ③ 生徒・保護者から提出された出願関係書類の内容確認及び高等学校へ送付

【送付までの流れ】（願書、自己推薦書等）

出願等書類 担任点検→学年点検→進路係点検→教頭点検→学校長点検→進路係集約→高等学校送付

- ① 公立高校の出願変更→書類の準備や高等学校への連絡 *保護者への協力依頼
- ② (公立) 受検票受領→生徒への受検票配付 (私立) 受験票は各自で印刷
- ③ 入試後(公立・私立)、「入学意思確認書」を提出→公立高校合格発表後、一般受検の生徒は再度確認
- ④ 「入学意思確認書」に基づき、追加合格の希望や私立高校への進学を確認し、関係高校へ連絡
- ⑤ 2次募集出願希望者には、出願関係書類を取りまとめ、高校等に送付 *保護者に協力依頼

以上のように、出願は願書を送付するだけでなく、添付する多数の書類があり、学校ごとに中学校が作成し、何重の点検を経て願書と併せて送付し、出願が完了します。このような流れで進路事務等の手続きが進められることをご理解ください。

【特別な配慮を必要とする出願】

聴覚、視覚、肢体不自由、糖尿病、入院している場合など、入学選抜における学力検査や入学後の学校生活等について特別な配慮を希望する場合は早急に担任と相談してください。中学校、高校、教育委員会で要望内容を確認し、シミュレーション等を行い、保護者へ配慮の内容をお伝えします。(特別な配慮が合否に影響することはありません。)

◆◆◆進路選択に関わり押さえておきたいポイント◆◆◆

【進路選択のポイント】

- ① **自分の特徴や適性の把握**
興味関心、性格、学力、運動能力、身体状況、社会性、職業適性、適応能力等を知ること。
- ② **進路に対する目的の明確化**
卒業後に何を学び、何を目指し、どのように努力するのかを明確にすること。(職業選択との関連性)
- ③ **家庭の状況**
家族の考え方、経済的な条件、通学時間などを考えること。
- ④ **進路についての研究と相談**
各種の情報を活用したり、保護者や教師としっかり相談していくこと。
※この他に、目まぐるしく変化する社会や経済の状況も考慮しなければならないのが昨今の現状です。

【 高校を選択する際のポイント 】

- ① 何を目的とし、どのようなことを学ぶために進学をするのか。
- ② 高校卒業後の進路状況はどうか。(自己の目標と照らし合わせて)
- ③ 自己の能力・適性に合っているか。
- ④ 通学の便はどうか。(時間的・経済的・体力的)
- ⑤ 授業料や必要経費はどれくらいかかるか。

【 保護者として進路相談をするときのポイント 】

- ① 子どもの意思と希望をじっくり聞く。
- ② 保護者の考えを一方的に押しつけない。
- ③ 将来への目標をしっかりとらせる。
- ④ 今後の生活に意欲をもたせる。
- ⑤ 努力した結果を認める。
- ⑥ 精神的な支えになる。

◆◆◆2学期末懇談について◆◆◆

12月11日(木)～17日(水)の2学期末懇談は、進路希望の最終確認を行う大切な懇談です。その場で親子の意見が異なることないように事前に話し合いをしっかりとってください。限られた時間での大切な話し合いですので、準備とご協力をお願いします。

- ① 必要があれば2学期末懇談までに担任との事前相談を行う。
 - ② 本人と保護者で十分に話し合い、懇談に臨む。
- <2学期末懇談>
- ③ 事前に家庭で話し合われた進路希望の確認。
 - ④ その進路希望について、資料に基づいた担任からのアドバイス及び相談。
 - ⑤ 最終決断(本人と保護者の合意で決定)
 - ⑥ 「出願手続依頼書」の提出(遅くとも懇談の翌日まで)
- ※この「出願手続依頼書」をもとに、中学校で出願手続を進めていきます。

2. 令和8年度公立高校・私立高校の変更点について

- (1) 北海道二セコ高校(定時制課程・緑地観光科)が募集停止となり、新しく全日制課程・総合学科(2学級)の高校へと変わります。
- (2) 札幌第一高校のコースが変更となります。(制服も新しくなります)
文理選抜コース→東大・医進Excellenceコース、文理北進コース→Liberal artsコース、総合進学コース→Ambitiousコース
- (3) 高等学校等就学支援金制度が拡充される予定です。
令和8年度から所得制限が撤廃され、支給上限額が私立高校の年間平均の授業料である45万7,000円まで引き上げられる予定です。詳細が分かり次第、改めてお伝えします。
- (4) 道立高校は、令和8年度入学者選抜から入学願書(写真台紙)に添付する証明写真をウェブ申請時にアップロードすることが可能となります。

※本校では、公立高校・私立高校・高専など全ての学校で、従来通りに中学校で撮影した証明写真を入学願書(写真台紙)に貼付して高校に提出します。ウェブ申請時にデータをアップロードしないようにご注意ください。

3. 全日制公立高校の合否判定について

◆公立高校合否に必要な事項◆

- ①「学習点」 ～3年間の学年末の学習成績の合計(315点満点 ※ランク)
- ②「学力点」 ～入学試験の得点(国・数・社・理・英の各教科100点、合計500点満点)
- ③「個人調査書」～3年間の出席状況、学校行事、特別活動(委員会活動・係活動・部活動など)、行動評定(学校生活の様子)、総合的な学習の時間の記録、校外活動などを記載。

④その他高校や学科によって異なるもの

- ・「面接」～人物評価として重視している学校や、学科によって英語の会話を行う学校がある。ただし面接を行わない学校についても、入試時の態度や様子を見ている。

面接のポイント…質問への回答内容や高校生活への意気込み、自己PR以外にも、元気な挨拶、身だしなみ、正しい言葉遣い、真面目な態度、正しい姿勢、目線・目つき、表情なども見られている

- ・「実技試験」～体育・美術の学科やコースで実施。
- ・「作文」～テーマが与えられ、400字程度の文章を書く(文字や誤字も判断される。)

◎上記(①～④)の結果を総合して、合否が判定される。

※私立高校も公立高校の内容とほぼ同じだが、3教科(国・数・英)で試験が行われる学校もある。

また学力点(入試得点)以上に、学習点(ランク)や出席状況、面接の結果を重視する学校もある。

なお、国立高等専門学校(高専)は試験内容、入試得点などが全く違うので、第1希望として考えている人は、学級担任に直接確認すること。

学習点について

【計算の仕方】

1年生の学年末評定(9教科)の合計×2(2倍)
 2年生の学年末評定(9教科)の合計×2(2倍)
 +) 3年生の学年末評定(9教科)の合計×3(3倍)

この3つの
合計点を
学習点という。

- ・学習点をもとに20点ごとにA～Mまでに分けたものがランクである。(次ページ参照)
- ・学年末評定とは、1学期・2学期・3学期の成績の総合計で算出し、3学期に家庭に通知される成績のことを表している。1年時の評定からすでに学習点に関わっている。

(例) ある生徒の3年間の成績は次の通りである。学習点・ランクは下記のように算出される。

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	合計	換算	学習点	
1年学年末	4	4	4	4	4	5	4	4	4	37	×2	74	
2年学年末	4	4	4	4	3	4	4	4	4	35	×2	70	合計点
3年学年末	4	4	4	3	5	4	4	4	4	36	×3	108	252

計算・・・(1年生)37×2+(2年生)35×2+(3年生)36×3=252

結果・・・学習点は252点、ランクはDとなる。(ランク表は次ページ参照)

【目標としている学習点・ランクになるための計算の仕方】

目標とする評定(9教科)の
合計を算出

1年生の場合

$$[\text{自分のなりたい学習点} - (1 \text{ 年前期評定の合計}) \times 2] \div 5$$

2年生の場合

$$[\text{自分のなりたい学習点} - (1 \text{ 年学年末評定の合計}) \times 2 - (2 \text{ 年前期評定の合計}) \times 2] \div 3$$

(例) ある2年生の生徒の成績は次の通りである。

目標としている学習点・ランクにはなるため下記のように算出される。

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	合計	換算	学習点
1年学年末	3	4	3	3	4	3	4	4	4	32	×2	64
2年前期	4	4	3	4	4	4	4	4	4	35	×2	70

計算・・・Cランク(256点)になるには

$$[256 - (1 \text{ 年生}) 32 \times 2 - (2 \text{ 年生}) 35 \times 2] \div 3 = 40.66 \dots$$

結果・・・評定(9教科)の合計が41以上になる必要がある。

具体的には、「4」を4教科、「5」を5教科とするとCランク(256点)になる。

【ランク表】

ランク	学習点	ランク	学習点	ランク	学習点	ランク	学習点
A	315~296	D	255~236	G	195~176	J	135~116
B	295~276	E	235~216	H	175~156	K	115~96
C	275~256	F	215~196	I	155~136	L	95~76
						M	75~63

※3年間 オール5→315(Aランク) オール4→252(Dランク)
 オール3→189(Gランク) オール2→126(Jランク)

【学力点について】

試験当日の得点も次のように段階(25段階)分けされます。

	学力点		学力点		学力点		学力点		学力点
1	500~481	6	400~381	11	300~281	16	200~181	21	100~81
2	480~461	7	380~361	12	280~261	17	180~161	22	80~61
3	460~441	8	360~341	13	260~241	18	160~141	23	60~41
4	440~421	9	340~321	14	240~221	19	140~121	24	40~21
5	420~401	10	320~301	15	220~201	20	120~101	25	20~0

【学習点と学力点の相関表】～2つの表を合わせる。

例:学習点182点(Gランク)で学力点(当日点)が175点の場合、★の位置になる。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
A																									
B																									
C																									
D																									
E																									
F																									
G																	★								
H																									
I																									
J																									
K																									
L																									
M																									

相関表と合否の関係(公立高校の場合)

◆公立高校の合否判定について◆

- ・第1段階……個人調査書の内容(学習点)と学力検査の得点(入試当日点)を同等に見て判定。入学者定員の70%が該当。
- ・第2段階……学力検査の得点(入試当日点)を重視して判定。入学者定員の15%が該当。
- ・第3段階……個人調査書の内容(学習点)を重視して判定。入学者定員の15%が該当。

※第2段階と第3段階は各高校の裁量でどちらを先に行っても良いが、個人の希望ではなく、あくまでも高校の判断によるので、誰がどの段階で合格したのかは公表されない。

《選抜方法の例》

A 高校では「学力検査の成績を重視」では学力:評定=8:2

「個人調査書等を重視」では評定:学力=6:4となっていたとする。

- ・第1段階で選抜し合格とならなかった生徒全員に上記の比率で得点の換算を行う。
- ・第2段階の「個人調査書等の重視」の選抜では、(学習点×6)+(学力点×0.63×4)の計算式で得点換算し上位の生徒から合格としていく。
- ・第3段階の「学力検査の成績重視」の選抜では、(学力点×0.63×8)+(学習点×2)の計算式で点数を換算し上位の生徒から合格としていく。

学力点		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
学習点		500～ 481	480～ 461	460～ 441	440～ 421	420～ 401	400～ 381	380～ 361	360～ 341	340～ 321	320～ 301	300～ 281	280～ 261	260～ 241	240～ 221
A	315～308 305～298				○					○					
B	295～288 285～278					○	○			○		×			
C	275～268 265～258						○	○	○	×	×		×		
D	255～248 245～238					○	○	○	○	×	×				
E	235～228 225～218						○	○							
F	215～208 205～198			○	○	×	×	×							
G	195～188 185～178				×	×	×								
H	175～168 165～158														
I	155～148 145～138														
J	135～128 125～118														

ア 相関表を用いて
募集定員の70%を
合格とする

イ 合格にならな
かった生徒の中から
募集定員の
15%を合格とする

ウ 合格にならなかつた生
徒の中から募集定員の
15%を合格とする

傾斜配点について

◆傾斜配点とは…◆

学力検査結果の特定の教科に重みをつけることです。筆記試験は各教科100点満点で、5教科合計500点満点ですが、例えば英語を2倍する学校の場合、英語だけは入試得点を2倍にし、200点満点として600点満点と取り扱います。その後、総得点を500点満点に換算して前述の要領で合否判定を行います。

【令和6年度公立高校入試 札幌市内における傾斜配点実施校】

札幌北	札幌国際情報	札幌旭丘	札幌清田	札幌啓成
普通	国際文化	数理データサイエンス	グローバル	理数
数・英(2.0倍)	英(2.0倍)	数・理(2.0倍) 英(1.5倍)	英(2.0倍)	数・理・英(1.5倍)

(例)札幌北高校(普通科)を次のAさん、Bさんが受検しました(公立は「受検」と言う)。

(上段)学力点(当日の入試得点)の合計は2人とも同じです。

(下段)傾斜配点の換算後には次のような差が現れました。(数・英2倍)

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
Aさん	90	96	82	98	80	446
	90	96	164	98	160	608⇒434
Bさん	84	86	98	82	96	446
	84	86	196	82	192	640⇒457

入試の合計点で、単純に合計するだけならばAさんとBさんは同点ですが、傾斜配点の制度がありますので、実際にはBさんのほうが有利になります。

令和8年度（2026年度）公立高等学校入学者選抜における

学校裁量についての実施予定一覧表

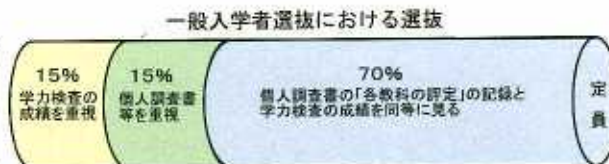
（札幌市立・知内町立・奥尻町立・音威子府村立・三笠市立・大空町立・浜中町立・ニセコ町立高等学校を除く）

【表の見方】

数字が書かれている学科で推薦入学者選抜を行います。数字は募集人員のうち、推薦による入学者の範囲の程度を%で示しています。「*」を付している数字は、募集人員から連携型入学者選抜による合格内定者数を減じた数のうち、推薦による入学者の範囲の程度を%で示しています。

推薦入学者選抜では、全ての学科で面接が実施されます。実施形態を○で記入しています。

傾斜をかける教科名とその倍率を表しています。
（例）数・理・英(1.5)
数学、理科、英語の3教科について、その得点をそれぞれ1.5倍にして各150点満点となります。



選抜に当たって、面接や実技などを重視する場合に、重視する内容を記入してあります。

学区	学校名	学科名	入学枠（％程度）	推薦入学者選抜													一般入学者選抜													定員
				面接	面接以外に実施する項目												学力検査等の実施				学力検査等による選抜で重視する項目									
					個人調査書												実技	全員	学年 点率	学力検査の成績を重視			個人調査書等を重視							
					個人	集団	英語の聞き取り テスト	英語による問答	実技	作文	学習の記録	学習の時間	総合的な 学習の時間	特別活動	社会活動	文化活動				スポーツ活動	資格・検定 試験等	その他	学力検査の 傾斜配点	教科（倍率）	学力：評定	評定：学力	個人調査書	特別活動 の記録	総合 所見等	

普通教育を主とする学科以外の学科については、道内全域です。

学校名・学科名の表記は、6月に発表の公立高等学校配置計画案に基づいています。

英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技、作文のうち、学校裁量で行う項目について○を記入しています。

個人調査書の中の項目のうち、選抜に当たって評価の対象とする項目に○（「その他」については具体的な内容を記入してあります。「総合所見等」の評価の観点には、活動歴や大会、資格・検定試験等の結果のみではなく、活動からうかがうことのできる生徒の長所、個性や意欲、能力などとし、それぞれの観点をバランスよく評価することとします。

※なお、スポーツ活動・文化活動には、学校部活動や地域クラブ活動を含みます。

実施する内容に○を記入しています。「過年度卒」の○は、過年度卒業生のみを対象とした面接の実施を表しています。

学力検査の成績と個人調査書の「各教科の評定」の記録との重視の比率を表します。

個人調査書の「各教科の評定」の記録と学力検査の成績との重視の比率を表します。

個人調査書の中の項目のうち、選抜に当たって参考とする項目を○で記入しています。

学区	学校名	学科名	入学枠 (%程度)	推薦入学者選抜										一般入学者選抜																
				面接		面接以外に実施する項目				個人調査書				学力検査等の実施				検数尺度による選抜で重視する項目												
				個人	集団	英語の聞き取り テスト	英語による問答	実技	作文	学習の記録	学習の時間	総合的な 特別活動	総合所見等				学力検査の 傾斜配点	実技	面接		学力検査の 成績を重視	個人調査書等を重視								
													社会活動	スポーツ活動	文化活動	資格・検定 試験等			その他	全員		学年 度卒	個人	集団	個人	学力：評定	特別活動 の記録	総合 所見等	実技等	
教科（前半）		個人	集団	個人																										
石狩	恵庭南	普通	20	○							○		○	○											9：1	9：1	○	○	面接	
		体育	50	○					○		○								○		○				10：0	10：0	○	○	面接	
	恵庭北	普通	10	○						○	○	○	○	○	○					○		○			8：2	6：4				
		機械	50	○							○	○	○	○	○	○	行動の記録			○					8：2	6：4	○	○	面接	
	札幌工業	電気	50	○							○	○	○	○	○	○	行動の記録			○					8：2	6：4	○	○	面接	
		建築	50	○							○	○	○	○	○	○	行動の記録			○					8：2	6：4	○	○	面接	
		土木	50	○							○	○	○	○	○	○	行動の記録			○					8：2	6：4	○	○	面接	
		電子機械	50	○							○	○	○	○	○	○				○					8：2	6：4	○	○	面接	
	札幌琴似工業	電気	50	○							○	○	○	○	○	○				○					8：2	6：4	○	○	面接	
		情報技術	50	○							○	○	○	○	○	○				○					8：2	6：4	○	○	面接	
		環境化学	50	○							○	○	○	○	○	○				○					8：2	6：4	○	○	面接	
		流通経済	50	○							○	○	○	○	○	○				○					8：2	6：4	○	○	面接	
	札幌東商業	国際経済	50	○							○	○	○	○	○	○				○					8：2	6：4	○	○	面接	
		会計ビジネス	50	○							○	○	○	○	○	○				○					8：2	6：4	○	○	面接	
		情報処理	50	○							○	○	○	○	○	○				○					8：2	6：4	○	○	面接	
	石狩翔陽	総合	50	○							○	○	○	○	○	○				○					6：4	9：1	○	○	面接	
	札幌厚別	総合	50	○							○	○	○	○	○	○					○				8：2	8：2			面接	
	千歳北陽	総合	50	○							○	○	○	○	○	○				○					6：4	9：1	○	○	面接	

学区	学校名	学科名	推薦入学者選抜													一般入学者選抜																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			面接以外に実施する項目													学力検査等の実施			複数年度による選抜で重視する項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			面接		英語による面接 （英検の得点あり）	実技	作文	学習の記録	総合的な 学習の時間	特別活動	個人調査書					学力検査の 傾斜配点	実技	面接			学力検査の 成績を重視	個人調査書を重視																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			個人	集団							総合所見等	担任活動	スポーツ活動 文化活動	資格・検定 試験等	その他			全員	適年度生	個人		学力：評定	評定：学力	特別活動 の記録	総合 所見等	実技等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			人数枠（％制度）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

【 全 日 制 】

【全日制】

学区	学校名	学科名	推 薦 入 学 者 選 抜													一 般 入 学 者 選 抜									
			入学枠 (％程度)	面 接		面接以外に実施する項目					個人調査書					学力検査等の実施			複数尺度による選抜で重視する項目						
				個人	集団	英語の聞き取り テスト	英語による回答	実 技	作 文	適性検査	学習の記録	学習の時間	総合的な 学習の活動	特別活動	キャリア活動 スポーツ活動・ 文化活動	資格・検定 試験等	その他	学力検査の 傾斜配点 教科 (倍率)	実 技	面 接		学力検査の 成績を重視	個人調査書を重視		
																				全員	過年度卒		学力：評定	特別 活動 の記録	総合 所見等
																				個人	集団	個人			
札幌市内 全域	市立札幌旭丘	普 通	20	○					○	○												9：1	6：4		
		数理データ サイエンス	30	○					○	○								数・理・化・生・地・社				9：1	6：4		
	市立札幌藻岩	普 通	30	○				○		○	○	○	○	○								6：4	6：4		
	市立札幌平岸	普 通 (普通)	10		○			○		○				○	○							8：2	6：4		
		普 通 (デザイン)	50		○		○			○				○	○			○※				8：2	6：4		
	市立札幌清田	普 通 (普通)	20	○		○				○		○		○	○							8：2	6：4		
		普 通 (デザイン)	50	○		○	○			○		○		○	○		英(2.0)					8：2	6：4		
	市立札幌新川	普 通	30	○						○		○		○	○							8：2	6：4		
	市立札幌啓北商業	未来商学	50	○						○		○		○								9：1	6：4		

※鉛筆デッサン、B4画用紙、90分

【 定 時 制 】

【 定 時 制 】			推 薦 入 学 者 選 抜													一 般 入 学 者 選 抜																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
学区	学校名	学科名	入学枠（人程度）	面接以外に実施する項目													学力検査等の実施					複数尺度による選抜で重視する項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				面 接		英語の聞き取りテスト	英語による回答	実 技	作 文	適性検査	学習の記録	学習の時間	総合的な学習の活動	特別活動	奉仕活動	総合所見等				学力検査の傾斜配点 教科（倍率）	実 技	面 接			学力検査の成績を重視	個人調査書を重視																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
				個人	集団											資格・検定試験等	スポーツ活動・文化活動	その他	全員			過年度卒	個人調査書	実技等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
																										学力：評定	評定：学力	特別活動の記録	総合所見等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
北海道内 全域	市立札幌大通	普 通	110	○				○		○	○	○	○	○	○				○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

※ 市立札幌大通高等学校の自己推薦入試における部ごとの入学枠は、午前部30名程度、午後部30名程度、夜間部50名程度。

4. 私立高校の入試について

◆私立高校は複数校受験が可能◆

【 一般入試日程 】

- 各高等学校は下記の日程のどちらかで一般入学試験を行う。したがって私立高校は2校まで受験することが可能。

A日程 2月13日(金)・14日(土)

B日程 2月17日(火)・18日(水)

【 私立高校の単願・専願・推薦入試 】

- 試験は1月中～下旬に実施され、2月初旬までに合格発表が行われる(日程は高校により異なる)。
※出願時期は冬休み中であることが多く、書類の準備、受験料の振り込みなど手続きに時間的な余裕がありません(例年の流れ：12月の期末懇談会で決定→2学期中に出願手を完了)。
- 合格した場合は、必ず受験校に入学することが条件となる。また、受験校以外に他校を受験しないことが条件となる場合もある。

◆受験の形態について◆

①推薦入試

中学校長の推薦が必要な場合と、公立高校と同様の自己推薦制度がある。合格した場合は、必ずその学校に入学。推薦基準や選抜の方法は、学校によって様々である。

②単願入試

その私立高校のみ志望する場合。推薦入試と同じ日に試験が行われる高校がほとんど。一般入試より有利な条件で受験できることがある。実施しない高校もある。

③専願入試

その私立高校を第1志望とし、合格した場合は必ずその高校に入学する。他の高校を受検しても構わない。

④一般入試

公立高校や他の私立高校など、複数の高校を受験する場合、全て合格した場合は、自分で進学先を決める。また、併願入試と呼ぶ学校もある。

◆合否判定について◆

私立高校にはそれぞれ独自の教育方針がある。入試において学習点と学力点を用いることは公立高校と同じだが、その運用の仕方は私立によってかなり違う。また、同じ私立でもコースや学科によって選抜方法が変わってくる場合がある。主に次のような方法がある。

①学習点(ランク)を重視して判定

3年前期の評定(学習点)を重視する私立高校が多い。もちろん、著しく低い入試点や面接の結果しだいでも不合格の可能性はある。多くの私立高校では、「学習点が合格基準として設定されている数値を上回っているかどうか」を重視している場合が多い。

②当日の入学試験の成績を重視して判定

近年、コースによっては当日の点数を重視する私立高校が増えてきた。この場合は、学習点が高くて当日点が低ければ不合格ということもあり得る。

※欠席日数、面接、部活動、委員会活動、資格試験(英検など)も考慮される

- ・多くの私立高校で、「欠席日数は、〇〇日以内」という基準を設けている。この日数は、各高校によって変わってくるが、中学校3年間で30日以内という基準が多い。理由がはっきりしている場合(入院など)は、「欠席理由書」の提出を求められることが多い。欠席日数を問わない私立高校もあるので、学校説明会に参加して個別相談を受けるとよい。
- ・私立推薦・単願・専願受験では面接試験を実施する学校が多く、中学生としてふさわしくない服装や態度で受験に臨み、不合格になるケースもある。日頃から気を付けることが大切。
- ・部活動優秀者(具体的な実績を問われることが多い)、委員会活動等で活躍をした者、英検などの有資格者を優遇する場合がある。

◆入試日◆

A日程 2月13日(金) 14日(土)

13日	北海学園札幌 北海道科学大学 札幌大谷 札幌静修 札幌北斗 札幌光星 札幌山の手 札幌新陽 東海大学付属札幌 札幌創成 札幌日本大学 藤女子 日本航空北海道 駒澤大学附属苫小牧 北海道栄 旭川実業 旭川志峯 函館ラ・サール 他
13日 14日	北照 小樽明峰 海星学院 帯広大谷 白樺学園 帯広北

B日程 2月17日(火) 18日(水)

18日	北海 北星学園大学附属 立命館慶祥 札幌第一 北海道文教大附属 札幌龍谷学園 とわの森三愛 小樽双葉
18日 19日	北星学園女子 北海道大谷室蘭 稚内大谷

※予約面接試験制・・・北星学園余市

◆入学手続◆

ほとんどの高校が入学手続締切日は公立高校の合格発表後ですが、手続に間に合わないとう入学の権利を失ってしまうので注意が必要。また、入学手続締切日が、公立高校の追加合格発表前の高校がかなりあり、その場合、私立高校の手続を済ませた上で追加合格を待つことが必要になる。

このとき、一旦納入した費用は返還されなかったり、一部の費用のみ返還されるなど、高校によって対応が違う。募集要項での確認が必要。

◆その他◆

- ・志望する学校のパンフレットやホームページ、募集要項をよく読んでおくこと。
- ・高校によっては、「特待生」「奨学生」を募集している。該当する人は、入学金が免除になったり半額になったりする。その他、学習支援金等が給付されるケースもある。学校によって、出願時に申し込む、事前申込不要など異なる。募集要項をよく読むこと。

2025 年度 私立高等学校納付金実績一覧

※印は PTA・生徒会費等の諸経費を含んでいます。
その他、見学旅行積立金等、別途費用がかかる場合があります。
2026 年度の納付金額は各学校にお問合せください。

単位：円

学校名	学科	入学時納付金			毎月納付金			入学検定料 (受検料)
		入学金	左記以外の 入学時納付金	計	授業料	左記以外の 毎月納付金	計	
1 清尚学院高等学校	調理・製菓衛生師	130,000	0	130,000	33,000	※ 5,000	38,000	15,000
2 函館大学付属有斗高等学校	普通	150,000	※ 9,800	159,800	33,000	※ 5,100	38,100	15,000
3 函館大妻高等学校	普通・家政	140,000	0	140,000	33,000	※ 6,000	39,000	15,000
4 函館大学付属柏稜高等学校	福祉・食物健康	140,000	0	140,000	33,000	※ 11,000	44,000	15,000
5 函館大谷高等学校	普通・商業	130,000	43,900	173,900	33,000	5,500	38,500	15,000
6 苫小牧中央高等学校	普通	140,000 減免制度あり	0	140,000	34,200	3,600	37,800	15,000
7 北海道栄高等学校	普通	200,000	16,000	216,000	33,000	10,500	43,500	15,000
8 駒澤大学附属苫小牧高等学校	普通	200,000	0	200,000	33,000	0	33,000	15,000
9 北海道大谷室蘭高等学校	普通	180,000	※ 3,000	183,000	33,000	※ 11,000	44,000	15,000
10 北海道大谷室蘭高等学校	普通	190,000	0	190,000	33,000	7,700	40,700	15,000
11 海星学院高等学校	普通	10,000	0	10,000	授業料：1 単位 72,000 円×単位数 諸経費：年額 0.000 円	諸経費は別表を要明をください。		15,000
12 北星学園大学附属高等学校	普通	180,000	3,000	183,000	35,000	2,800	37,800	15,000
13 北星学園大学附属高等学校	普通	240,000	5,000	245,000	36,000	4,500	40,500	16,000
14 北海高等学校	普通	150,000	104,500	254,500	33,000	※ 16,000	49,000	15,000
15 北海道科学大学高等学校	普通	200,000	13,000	213,000	35,000	11,500	46,500	16,000
16 札幌静修高等学校	普通・ユニバーサル	220,000	35,000	255,000	33,000	11,700	44,700	16,000
17 札幌北斗高等学校	普通	230,000	24,000	254,000	33,000	7,000	40,000	16,000
18 北海学園札幌高等学校	普通	150,000	102,000	252,000	33,000	12,100	45,100	15,000
19 東海大学付属札幌高等学校	普通	190,000	82,000	272,000	34,500	4,100	38,600	15,000
20 札幌龍谷学園高等学校	普通	220,000 授業：半額での出費 180,000	※タフレット代が 別途かかります。	220,000 授業：半額での出費 180,000	33,000	11,100	44,100	15,000
21 北海道文教大学附属高等学校	普通	100,000	5,200	105,200	33,300	※平均 12,500	平均 45,800	15,000
22 札幌創成高等学校	食物	100,000	5,200	105,200	33,300	※平均 15,500	平均 48,800	15,000
23 札幌創成高等学校	普通	200,000	8,000	208,000	33,000	6,000	39,000	16,000
24 札幌新陽高等学校	普通	200,000	35,000	235,000	33,000	14,370	47,370	15,000
25 札幌第一高等学校	普通	250,000	10,000	260,000	38,000	10,100	48,100	16,000
26 日本航空高等学校 北海道	航空科	150,000	約 210,000	約 360,000	396,000 (年額)	約 572,000 (年額)	約 968,000 (年額)	17,000
27 札幌山の手高等学校	普通	245,000	29,000	274,000	33,000	15,800	48,800	16,000
28 酪農学園大学附属 とわの森三愛高等学校	普通：特進 GROW-UP (文系)	260,000	0	260,000	35,000	22,500	57,500	16,000
29 酪農学園大学附属 とわの森三愛高等学校	普通：特進 GROW-UP (獣医・理系)	260,000	0	260,000	35,000	22,500	57,500	16,000
30 酪農学園大学附属 とわの森三愛高等学校	普通：総合進学	260,000	0	260,000	35,000	13,500	48,500	16,000
31 酪農学園大学附属 とわの森三愛高等学校	普通：トップアスリート 健康	260,000	0	260,000	35,000	15,500	50,500	16,000
32 酪農学園大学附属 とわの森三愛高等学校	普通：フードクリエイティブ	260,000	0	260,000	35,000	13,500	48,500	16,000
33 酪農学園大学附属 とわの森三愛高等学校	アグリクリエイティブ：機農	260,000	60,000	320,000	35,000	23,500	58,500	16,000
34 北星学園余市高等学校	普通	160,000	109,563	269,563	34,000	1,000 (施設整備費)	35,000	14,000
35 北照高等学校	普通	160,000	40,000	200,000	35,000	4,000	39,000	15,000
36 小樽双葉高等学校	普通	150,000	30,000	180,000	35,000	0	35,000	16,000
37 小樽明峰高等学校	普通	10,000	293,200	303,200	20 単位超の積立金です。別途教材費・行事費がかかります。			8,000
38 小樽明峰高等学校	普通	100,000	※ 50,000	150,000	33,000	2,000	35,000	15,000
39 帯広大谷高等学校	普通	150,000	7,000	157,000	32,200	8,150	40,350	15,000
40 帯広北高等学校	普通	150,000	0	150,000	33,000	8,100	41,100	15,000
41 白樺学園高等学校	普通	150,000	7,000	157,000	33,000	5,800	38,800	15,000
42 武修館高等学校	普通	160,000	44,900	204,900	31,800	4,400	36,200	18,000
43 北見藤高等学校	普通	200,000	0	200,000	33,000	3,500	36,500	16,000
44 旭川龍谷高等学校	普通	280,000	6,800	286,800	33,000	13,100	46,100	20,000
45 旭川藤星高等学校	普通	280,000	※ 27,200	307,200	33,000	※ 6,800	39,800	20,000
46 旭川実業高等学校	全学科	285,000	7,000	292,000	33,000	12,000	45,000	18,000
47 旭川明成高等学校	総合	285,000	2,000	287,000	33,000	10,700	43,700	20,000
48 旭川志峯高等学校	普通	280,000	8,000	288,000	33,000	11,000	44,000	20,000
49 稚内大谷高等学校	普通	160,000	※ 2,000	162,000	25,000	※ 18,310	43,310	16,000

学校名	学科	入学時納付金			毎月納付金			入学検定料 (受験料)
		入学金	左記以外の 入学時納付金	計	授業料	左記以外の 毎月納付金	計	
(定時制) 41 札幌山の手高等学校	普通	単願 150,000 併願 180,000	28,000	単願 178,000 併願 208,000	27,000	12,800	39,800	18,000
(通信制) 42 酪農学園大学附属 とわの森三愛高等学校	普通通学コース 農食環境科学通学コース 普通通信コース 農食環境科学通信コース	50,000 50,000 50,000 50,000	358,800 381,600 92,400 99,600	408,800 431,600 142,400 149,600	1 単位 17,000 円 × 単位数 普通科・専攻 304,800 円 (27 単位) 農食環境科学科・専攻 352,800 円 (28 単位) 学費は年度別と異なります。 詳細につきましては各学年募集要項をご覧ください。			16,000
(通信制) 43 池上学院高等学校	普通	8,000	408,780 ~834,780	(年額) 416,780 ~842,780	学費は年間提示のため毎月納付ではありません。 分次支払の場合、毎月納付も可能です。 別途教材と書籍送料の費用が入学時にかかります。 コース別の学費は、配布の募集要項でご確認ください。 ご希望の方は本校へより資料請求をお願いします。			10,000
(通信制) 44 北海道芸術高等学校	普通	50,000	656,540	706,540	0	0	0	20,000
(通信制) 45 クラーク記念国際高等学校	普通	10,000	210,000	(年額) 220,000	在学中に修得コースの納付金費です。その他のコースについては、 学費を要します。学校選考などをご確認ください。			20,000
(通信制) 46 札幌静修高等学校	学習支援コース アグリコース ホームクラフトコース ※ 2025 年度、オプションコースは、 コース名が変更・追加となります。	50,000	20,000	70,000	4 2025 年度募集要項 1 単位を 800 円 × 単位数 (2025 年度定員予定) お金の他、オプションコースにより異なるコース費があります。 詳細は募集要項をご確認ください。 学費は年度別と異なります。			5,000
47 藤女子高等学校	普通	250,000	0	250,000	37,400	4,450	41,850	16,000
48 札幌日本大学高等学校	普通	260,000	6,000	266,000	33,000	12,200 国際バカロレアコース はコース費として別途 20,000 円	45,200	15,000
49 札幌大谷高等学校	普通	180,000	0	180,000	33,000	11,700	44,700	15,000
	音楽	180,000	0	180,000	33,000	17,700	50,700	15,000
	美術	180,000	0	180,000	33,000	11,700	44,700	15,000
50 北嶺高等学校	普通	0	0	0	50,000	1,900	51,900	—
51 北星学園女子高等学校	Academic Course Globalist Course Pioneer Course Music Course	250,000	0	250,000	34,000	※ 8,910	42,910	16,000
52 立命館慶祥高等学校	普通	350,000	0	350,000	64,500	0	64,500	15,000
53 札幌光星高等学校	普通	300,000	0	300,000	33,000	※ 15,215	48,215	16,000
54 函館白百合学園高等学校	普通	130,000	0	130,000	33,000	7,600~9,600	40,600~ 42,600	15,000
55 遺愛女子高等学校	普通・英語	130,000	8,000	138,000	33,000	※ 10,600	43,600	16,000
56 函館ラ・サール高等学校	普通	200,000	0	200,000	44,000	13,850	57,850	15,000

北海道私立中学高等学校協会「私学ナビ 2025」より抜粋

令和8年度入試 私立高等学校 特待生・奨学金制度一覧

北海学園札幌高等学校 奨学金制度

◇推薦・専願・クラブ入試合格者奨学金制度

A・Bランク	特進合格	第Ⅱ種奨学金支給(一時金15万円)
	総進合格	第Ⅲ奨学金支給(一時金5万円)
Cランク	特進合格	第Ⅲ奨学金支給(一時金5万円)
	総進合格	
D以下 専願・クラブのみ	特進合格	第Ⅲ奨学金支給(一時金5万円) ※一般入学試験順位100番以内
	総進合格	

◇一般入試合格者奨学金制度

全ランク	特進合格	第Ⅲ奨学金支給(一時金5万円) ※一般入学試験順位100番以内
	総進合格	

◇英検2級取得者奨学金制度(2年次よりグローバルコースを希望する者)

全ランク	特進合格	第Ⅲ奨学金支給(一時金5万円) ※合格証書を提出(他奨学金と重複不可)
	総進合格	

札幌光星高等学校 授業料等減免制度及び奨学制度 ※令和7年度のもの(令和8年度未定)

●特待生制度

・A特待: 入学金及び学費(授業料、施設設備金、諸経費、暖房費)を免除

・B特待: 入学金を免除

入試区分	専願1・2	専願3	一般入試
A特待	専願1: 合格者全員 専願2: 専願入試の高得点者	専願入試の高得点者	当日点の高得点者 ※A特待: 420点目安 B特待: 400点目安
B特待	専願1: 該当なし 専願2: 合格者全員		

●外部奨学制度 ※詳細は高校HP参照

カトリック・マリア会・セント・ジョセフ奨学育英基金

札幌静修高等学校 特待生制度

※調査書に「1」がある場合は特待生に該当しない。特待生制度の重複適用は不可。

●推薦・単願入試

〔学業特待生〕

種別	対象	支給
SA型	学習点A・B・Cランク	入学金全額給付、授業料全額給付(3年間)
SB型	学習点Dランク	入学金全額給付、授業料半額給付(3年間)
SC型	学習点Eランク	入学金全額給付

〔クラブ活動特待生〕 強化指定クラブを中心としたバドミントン部・ハンドボール部・野球部・他

種別	対象	支給
A特待	高校クラブ顧問の推薦 学習点Fランク以上	入学金全額給付、授業料全額給付(3年間)
B特待		入学金全額給付、授業料半額給付(3年間)
C特待		入学金全額給付

* 申請については、クラブ顧問の事前確認後、web出願時に必要事項入力

●一般入試

〔学業奨学生〕

種別	対象	支給
GA型	学習点A・Bランク	入学金半額給付、授業料全額給付(3年間)
GB型	学習点C・Dランク	入学金半額給付

●推薦・単願入試及び一般入試共通

〔優遇制度〕

対象	支給
父母、姉兄が卒業生	入学金半額給付
兄弟が在籍	入学金半額給付

* 申請については、web出願時に必要事項入力

東海大学附属札幌高等学校 奨学金制度

●部活動奨励奨学金

学業成績・生活態度・運動競技の技能量で模範となる生徒(自薦することはできない)

部活動奨励奨学金1種	年額24万円×3年間
部活動奨励奨学金2種	年額12万円×3年間
部活動奨励奨学金3種	年額19万円×1年次
部活動奨励奨学金4種	年額9万5千円×1年次

対象: 野球部、男女バスケットボール部、男女バレーボール部、陸上競技部、剣道部、

男女柔道部、スキー部、サッカー部、吹奏楽部

※野球部(5名以内)の場合のみ、中学校長の推薦書が必要

札幌山の手高等学校 特別奨学生制度 ※令和7年度のもの(令和8年度未定)

※他の奨学金制度との重複不可(良い条件の特典を採用)

●学業成績特別奨学生制度(入学後の成績基準をクリアすること、模擬試験を年1回以上受験すること)

受験区分	認定条件	特典
単願入試	A～Cランク	・入学金全額給付 ・授業料全額給付
	D～Eランク	・入学金半額給付 ・授業料全額給付
	F～Gランク	・入学金10万円給付 ・授業料半額給付
	Hランク以下	・入学金8万円給付
一般入試	A～Bランク	・入学金全額給付 ・授業料全額給付
	C～Dランク	・入学金半額給付 ・授業料半額給付
	Eランク	・入学金10万円給付 ・授業料半額給付
	F～Gランク	・入学金8万円給付
入試点上位者特典	入試点上位30位以内	・入学金全額給付 ・授業料全額給付
	入試点上位70位以内	・入学金半額給付 ・授業料全額給付

●自己推薦特別奨学生制度(入学後の成績基準をクリアすること、模擬試験を年1回以上受験すること)

受験区分	認定条件	特典
自己推薦	A～Dランク	・入学金全額給付 ・授業料全額給付
	Eランク	・入学金15万円給付 ・授業料全額給付
	F～Gランク	・入学金半額給付 ・授業料半額給付

●弟妹・同窓生特別奨学生制度

受験区分	認定条件	特典
単願入試	卒業生の孫・子・弟妹または兄姉が在籍	・入学金15万円給付 ・授業料半額給付

●スポーツ・文化特別奨学生制度

受験区分	名称	認定条件	特典
単願入試	A	スポーツ・文化で優れた技能をもち、指定クラブ顧問との確認・連絡が取れている生徒	・入学金全額給付 ・授業料全額給付
	B		・入学金半額給付 ・授業料半額給付
	C		・入学金10万円給付

●夢チャレンジ特別奨学生制度

受験区分	認定条件	特典
単願入試	夢チャレンジで出願許可が下りた受験生	・入学金半額給付

●公立チャレンジ特別奨学生制度

受験区分	認定条件	特典
一般入試	公立高校合格者	・入学金半額給付

●高校独自の制度

対象	認定条件	特典
全受験生	非課税世帯 ※事前申請必要	・入学金半額給付

立命館慶祥高等学校 奨学金

	スカラーシップA	スカラーシップB
資格	3年前期 Aランク	3年前期 Bランク以上
支給	授業料全額免除	授業料半額免除
人数	10名程度	10名程度

*対象者→SP推薦・一般推薦

*スカラーシップ奨学金「申請書」「申請希望理由書」提出(中学校を通して)

申請時期:2025年10月14日(火)～11月17日(月)必着

審査結果:11月25日(火)に中学校へ郵送

札幌創成高等学校 特別奨学金制度 ※令和7年度のもの(令和8年度未定)

①専願奨学生

型	資格	特典
A型	A・Bランク	入学金・授業料を全額支給
B型	Cランク	入学金・授業料を半額支給
C型	Dランク	入学金5万円、授業料を1/3支給

②一般奨学生

型	資格	特典
GA型	A・Bランク	授業料を全額支給
GB型	Cランク	授業料を1/3支給
HA型	入試得点10%以内 (GA型を除く)	授業料を全額支給

③強化指定クラブ奨学生(対象:野球部、サッカー部、陸上部) ※事前相談が必要

型	資格	特典
SA型	高校クラブ顧問が認めた専願受験者	入学金・授業料を全額支給
SB型	一般入試受験者	入学金・授業料を半額支給

●特典制度(特別奨学生制度との重複不可)

①兄弟(双子含む)が在籍→弟妹の授業料を半額支給(重複在籍期間のみ)

②そうせい幼稚園の卒園生→入学金10万円支給

③保護者が本校の卒業生またはそうせい幼稚園卒園→入学金5万円支給

●通学費助成制度

通学定期券の購入代金が月額13,000円以上→札幌市の交通費助成制度受給可能額との差額を支給

札幌日本大学高等学校 特別奨学生 ※令和7年度のもの(令和8年度未定)

○奨学金制度

A特待生:入学金全額、毎月授業料相当額

B特待生:入学金半額、毎月授業料相当額の半額

*[授業料相当額]=[授業料]-[就学支援金等]

[1. 推薦I(専願)・推薦Ⅲ(併願)]

特待A・Bについては、学力認定調査で基準を満たすこと。

認定されなかった場合、一般入試で再受験可能(受験料不要)

[2. 一般入試]

A特待生:入試得点上位10%程度

B特待生:入試得点上位20%程度

*プレミアムSコース・特進コース・国際バカロレアコース対象

[3. 公立高校合格者]

A特待生:札幌東・西・南・北高校の全日制普通科に合格した者

*合格通知書を提出

[4. 指定クラブ推薦]

*該当生徒については、高校顧問より中学校経由で連絡あり。

札幌新陽高等学校 奨学金・特待制度

◇自己推薦特待 全受験者(単願・一般問わず)

種別	自己推薦特待(S)・本気認定 5名程度	自己推薦特待(A)・多様性認定 30~40名程度
内容	入学金全額免除+奨学金20万円支給	入学金全額免除
特徴	自分がこれまでに努力してきたこと(部活動などの課外活動)を高校に入学後も「継続して本気で挑戦していきたい」、高校入学の後に「新たにチャレンジしたい」ことがある人が対象。	
認定基準	書類審査および保護者同伴での面接内容を総合的に判断	

◇OPEN SCHOOL特待(申請不要)

内容	入学金10万円免除(半額)
認定基準	出願時 Gランク以上+3年次欠席10日以内+オープンスクール1回以上参加

◇部活動特待

※高校の部活動顧問が推薦する生徒に対して事前に中学校を通して詳細を案内する

内容	入学金全額免除+奨学金10万円支給
認定基準	前期 Gランク以上+3年次欠席10日以内

◇新陽特待制度(若干名、申請不要)

対象	一般入試の受験生
内容	入学金全額免除
認定基準	個人調査書、筆記課題および面接内容を総合的に判断

◇各種奨学金制度

・札幌新陽高校後援会奨学金
・パスポート認定者(単願特待)

部活動・学業で優秀な成績を残した生徒

月額8千円。返済義務なし
入学金10万円免除(半額)

札幌大谷高等学校 特別奨学生制度

■学習特別奨学生(単願のみ)

* 単願特別奨学生申請書を出願時に提出

学習 SP	3年次5教科24以上 または学力点検85%以上	普通科PSクラス	入学金:全額免除 給付金:年間24万円
学習 I 種	3年次5教科23以上 または学力点検80%以上		入学金:全額免除 給付金:年間12万円
学習 II 種	3年次5教科22以上 または学力点検75%以上		入学金:半額免除 給付金:年間6万円

■芸術特別奨学生(単願のみ)

* 高校より中学校を通して該当者へ申請書を送付

芸術 SP	3年次5教科15以上 かつ技能がトップレベル	音楽科 美術科	入学金:全額免除 給付金:年間24万円
芸術 I 種	3年次5教科15以上 かつ技能が極めて優秀		入学金:全額免除 給付金:年間12万円
芸術 II 種	3年次5教科21以上 かつ技能が優秀		入学金:半額免除 給付金:年間6万円

※11/15(土)冬季芸術教室の参加必須

■クラブ特別奨学生(単願のみ、人数枠あり)

* 高校より中学校を通して該当者へ申請書を送付

クラブ SP	3年次5教科15以上 かつ技能がトップレベル	強化クラブ AS(体)	入学金:全額免除 給付金:年間24万円
クラブ I 種	3年次5教科15以上 かつ技能が極めて優秀	G 音(吹)	入学金:全額免除 給付金:年間12万円
クラブ II 種	3年次5教科21以上 かつ技能が優秀	強化クラブAS(体) 音(吹)	入学金:半額免除 給付金:年間6万円

※強化クラブ:バレーボール(男女) 卓球(女) 水泳(男女) 陸上(男女) バスケットボール(女)
サッカー(男女) 硬式野球(男) フェンシング(男女) ソフトテニス(女) 吹奏楽(男女)

■一般受験生対象特別奨学生

※申請不要

一般 SP	東西南北に合格し 本校に入学した者	全学科	入学金:全額免除 給付金:年間24万円
一般 I 種	3年次5教科24以上かつ公立高に合格し本校に入学した者		入学金:全額免除 給付金:年間12万円
一般 II 種	3年次5教科23以上かつ公立高に合格し本校に入学した者		入学金:半額免除 給付金:年間6万円

■入学金減免制度

兄弟姉妹在学・卒業生	兄弟姉妹が札幌大谷中学・高校に入学・在学・卒業	2人目(1人在学・卒業):半額免除 3人目(2人以上在学・卒業):全額免除
親子	保護者が札幌大谷高校の卒業生	3万円を入学後に免除
附属幼稚園	附属幼稚園を卒園	5万円を入学後に減免

藤女子高等学校 特待生・奨学生

●特待生

対象者	一般入試の成績が極めて優秀な者(若干名) ※入試400点以上を基準に選考 ※専願受験者は、一般入試を受験すること
支給	入学金相当額(25万円)を給付

●奨学生(高校独自)

対象者	道民税・市民税所得割合額の合計額が非課税の世帯 ※入学後に課税証明書を提出
支給	入学金相当額(25万円)を給付

札幌北斗高等学校 特別奨学生(特待生)制度

成績奨学生(ランク特待) ※特別進学・進学コース対象
出願時Fランク以上(下表参照)かつ3年次5教科評定各3以上

ランク	入学奨学金		学習活動奨学金	
	推薦・単願	併願	推薦・単願	併願
A・B	230,000円 (入学金全額)	230,000円 (入学金全額)	各月12,000円 (3年間)	各月12,000円 (3年間)
C	230,000円 (入学金全額)	150,000円	各月8,000円 (3年間)	各月5,000円 (3年間)
D・E	150,000円	80,000円	各月5,000円 (3年間)	各月3,000円 (3年間)
F	80,000円	40,000円		

※ランク特待の資格を満たしていない場合は、チャレンジ特待で判定する。

成績奨学生(チャレンジ特待) ※全コース対象
3教科(国数英)の筆記試験の合計得点で判定

入試得点	入学奨学金		学習活動奨学金
	推薦・単願	併願	推薦・単願・併願
85%以上	230,000円 (入学金全額)	230,000円 (入学金全額)	各月12,000円 (3年間)
80%以上 85%未満	230,000円 (入学金全額)	150,000円	各月8,000円 (3年間)
75%以上 80%未満	150,000円	80,000円	各月5,000円 (3年間)

※入試得点をランク特待の基準と比べ、給付額の大きい方を採用する。

部活動奨学生(部活特待)

事前に中学校と本校クラブ顧問の了承を得た志願者

資格	Gランク以上、推薦・単願で、中学校における部活動の実績があり、人物・生活態度が良好な生徒
特典	入学時奨学金:一定額を給付 部活動奨学金:毎月一定額を給付

※野球部は中学校長の推薦が必要。

優遇奨学生

※全コース対象

優遇奨学生の併用はできない

	入学時奨学金	活動奨学金
①入学時に祖父母、父母、兄姉が卒業生の場合	80,000円	各月3,000円 (3年間)
②入学時に兄姉が在籍している場合		
③双子がともに入学する場合(どちらか一方)		

※web申請時に該当項目を入力すること。

北星学園大学附属高等学校 奨学金と減免制度 ※令和7年度のもの(令和8年度未定)

●入学金免除制度

特別進学コース

全入学者対象

推薦・専願かつCランク以上の合格者

入学金のうち200,000円を免除

年額100,000円を支給(初年度のみ、上限あり)

進学コース

推薦・専願かつDランク以上の合格者

入学金のうち200,000円を免除

出願時に英検準2級以上の取得者

入学金のうち100,000円を免除(併用不可)

●学習応援の奨学金制度

入学後、学年成績上位10位以内の生徒

100,000円支給(1年次、2年次修了後)

入学後、英検2級合格者

5,000円の図書カード

入学後、英検準1級以上の合格者

10,000円の図書カード

●北星学園スカラシップ制度

保護者の失職や死亡等で家計が急変した場合

学費負担が最長で1年間免除

酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 学費支援制度

推薦・単願		入学金半額免除
同窓生	保護者が酪農学園の学校を卒業	入学金全額免除 ※証明書必要
兄弟姉妹	兄弟姉妹が同時在籍	年間6万円奨学金給付
特進	A～Cランク	入学金全額免除+年間12万円奨学金給付
GROW-UP	D～Eランク	年間6万円奨学金給付
総合進学 フードクリエイティブ	A～Bランク	入学金全額免除+年間12万円奨学金給付
	Cランク	入学金全額免除+年間6万円奨学金給付
	D～Eランク	年間6万円奨学金給付
	A～Dランク	入学金全額免除+年間15万円奨学金給付
機農	Eランク	入学金半額免除+年間10万円奨学金給付
	農家子弟	入学金半額免除 ※証明書必要
トップアス リート特待	クラブ顧問が認める 3年間指定クラブ在籍	特待S 入学金全額免除+年間18万円奨学金給付
		特待A(A～Cランク) 入学金全額免除+年間12万円奨学金給付
		特待D(D～Eランク) 入学金半額免除+年間12万円奨学金給付

札幌第一高等学校 特典資格制度

●新入生学力特待

特待名	コース	受検種別	資格要件	支給
自己推薦特待	東大・医進Excellence Liberal arts	自己推薦	Aランク	入学金全額
S特待	東大・医進Excellence Liberal arts	自己推薦	入試得点75%程度以上	入学金全額 奨励金月額1万円3年間
		一般	入試得点80%程度以上	
A特待	東大・医進Excellence Liberal arts	自己推薦	入試得点70%程度以上	入学金全額 奨励金月額1万円1年間
		一般	入試得点75%程度以上	
B特待	全コース	自己推薦	入試得点65%程度以上	入学金全額
C特待	全コース	一般	入試得点70%程度以上	入学金半額

※S特待・A特待の「奨励金支給」は、授業料無償化実施前は「授業料支給(3年間または1年間)」が特典となる。

●クラブ特待

コース	受検種別	資格要件	支給
全コース	自己推薦	学校生活を通して学業・クラブ活動に励み、高校クラブ顧問が推薦する生徒	入学金全額または 入学金半額

※事前に中学校を通して連絡があった生徒に限る。自ら申請はできない。

北星学園女子高等学校 奨学金制度

①入試得点や出願時の学習点に関わるもの

□一般入試

全コース	入試得点80%以上	入学金20万円支給
------	-----------	-----------

*専願入試合格者は、一般入試を受験することで奨学金にチャレンジできる。

□専願入試・一般入試

全コース	出願時A・Bランク 英検2級以上またはケンブリッジ英語検定PET以上	入学金20万円支給
Musicコース (Performanceのみ)	出願時C・Dランクかつ 実技試験科目①②のうち一方がS判定でもう一方がA判定以上	入学金20万円支給

*実技認定試験の結果で判定。一般入試の実技は対象外。

②減免制度

□入学金軽減制度

非課税世帯	一括13万円
-------	--------

□複数入学世帯入学金減免制度

入学年度に姉妹が本校(中学・高校)に在籍・入学している生徒	一括12万円
-------------------------------	--------

□教役者親族授業料等減免制度

プロテスタント福音主義キリスト協会教役者の直系血族かつ被扶養者	入学金・授業料・維持費の一部を減免
---------------------------------	-------------------

③入学後の成績や経済的理由に関わるもの

□スミス・モンク・エバンス奨学金

経済的理由により就学継続が困難な生徒(在学中に2回まで)	一括10万円
------------------------------	--------

□PTA・後援会奨学金

経済的理由により就学継続が困難な生徒(在学中に1回まで)	一括10万円
------------------------------	--------

札幌龍谷学園高等学校 特待制度・特奨制度

※重複認定不可 ※欠席30日以内が条件

①スーパー特進・特進コース

スーパー特進特待 (推薦・単願)	3年次の5教科の評定平均4.5以上	・入学金全額給付 ・学習補助金 年間6万円給付
スーパー特進特待 (一般)	学習点Bランク以上または 特進コース合格者を含む入試点上位20%以内の者	・入学金全額給付 ・学習補助金 年間6万円給付
特進特待 (推薦・単願)	学習点Cランク以上	・入学金全額給付
特進特待 (一般)	学習点Cランク以上または スーパー特進コース合格者を含む上位30%以内の者	・入学金全額給付

*推薦・単願合格者で、特待が確定していない生徒や認定されている特待より条件の良い特待を希望する生徒は、チャレンジ試験を受験

②プログレス進学コース

プログレス進学 (推薦・単願)	学習点Dランク	・入学金全額給付
プログレス進学 (一般)	学習点Dランクまたは入試点60%以上	・入学金全額給付

*推薦・単願合格者で、特待が確定していない生徒や認定されている特待より条件の良い特待を希望する生徒は、チャレンジ試験を受験

③未来創造コース

未来創造 (推薦・単願・一般)	入試点60%以上	・入学金全額給付
--------------------	----------	----------

*推薦・単願合格者で、特待が確定していない生徒や認定されている特待より条件の良い特待を希望する生徒は、チャレンジ試験を受験

④弟妹特待

対象者	・入学時に兄姉が在籍・双子の兄弟姉妹が同時に入学	・入学金半額給付
-----	--------------------------	----------

⑤同窓特待

対象者	・祖母・父母・兄姉が卒業生	・入学金半額給付
-----	---------------	----------

⑥スポーツ特奨制度

対象者	・本校のみを志願し、強化指定部での貢献が期待できる生徒 ・本校顧問の推薦を受けた生徒 ・学習点Gランクまでの生徒	【A特待】 ・入学金全額給付 ・活動補助金 年間5万円給付
対象部	男子バドミントン、卓球、サッカー、野球、 女子ソフトテニス、女子バスケットボール	【B特待】 ・入学金全額給付

*チャレンジ試験の受験不可 *スポーツ特待願書(本校HPからダウンロード)を提出

北海道文教大学附属高等学校 特待制度 ※令和7年度のもの(令和8年度未定)

●学力特待A(対象:全学科)

待遇	入学金の全額及び3年間の授業料のうち就学支援金等公的補助を除く本人負担分の全額を支給【入学金免除、授業料無償】
基準	推薦・単願・専願 256(C)以上

*出願時の学習点及び欠席20日以内

*「特待生・同窓優待制度申請書」を出願時に提出

●学力特待B(対象:全学科)

待遇	入学金の全額及び3年間の授業料のうち就学支援金等公的補助を除く本人負担分の半額を支給【入学金免除、授業料半額】
基準	推薦・単願・専願 246(D+)以上

*出願時の学習点及び欠席20日以内

*「特待生・同窓優待制度申請書」を出願時に提出

●スポーツ特待A(対象:普通科)

待遇	入学金の全額及び3年間の授業料のうち就学支援金等公的補助を除く本人負担分の全額を支給【入学金免除、授業料無償】
基準	強化指定部(サッカー・野球)の活動実績が、全道大会または全市大会上位入賞レギュラーレベルの実力。レバンガU18トライアウト合格者(3年間、部活・レバンガで活動)

*「特待生・同窓優待制度申請書」「活動実績書」を出願時に提出

●スポーツ特待B(対象:普通科)

待遇	入学金の全額及び3年間の授業料のうち就学支援金等公的補助を除く本人負担分の半額を支給【入学金免除、授業料半額】
基準	強化指定部(サッカー・野球)の活動実績が、全市大会入賞レギュラーレベルの実力。人物・体育技能ともに優秀で、学習意欲も旺盛であること(3年間、部活で活動)

*「特待生・同窓優待制度申請書」「活動実績書」を出願時に提出

●第一志望優待制度(対象:普通科)

待遇	入学金の半額を支給【入学金半額】
条件	普通科の推薦・単願・専願受験合格者

●同窓生優待制度(対象:全学科)

待遇	入学金の全額を支給【入学金免除】
条件	同窓生の子、兄姉が同時に在籍、双子で入学(2人ともに適用)

*「特待生・同窓優待制度申請書」を出願時に提出

北海高等学校特別奨学生 ※令和7年度のもの(令和8年度未定)

- 北海高校特別奨学生
 - ・一般入試成績が全受験生の30番以内→入学一時金+3年間の授業料相当額
 - ・一般入試成績が全受験生の100番以内→入学一時金相当額
- 南部忠平奨学生(若干名)→入学一時金相当額
 - ※スポーツに優れ文武両道を目指す生徒。野球部の場合は中学校長の推薦書が必要。
- 大谷喜一奨学生(若干名)→第1種:入学時納付金に相当する奨学金
 第2種:年間授業料に相当する奨学金
 第3種:月額1万円(年額12万円)の奨学金
 第4種:月額1万5千円(年額18万円)の奨学金
 - ※野球に優れ文武両道を目指す生徒。中学校長の推薦書が必要。

北海道科学大学高等学校 入学特待制度

●学力特待生

種別	試験区分	資格要件	内容
特待A	単願	Aランク	・入学金全額免除 ・授業料自己負担相当額 全額給付(3年間)
	一般	Aランク または 入試得点80%以上 または 入試上位30名	
特待B	単願	Bランク	・入学金半額免除 ・授業料自己負担相当額 半額給付(3年間)
	一般	入試得点70%以上 または 入試上位100名	

- *欠席日数が30日以内。入院もしくは入院相当の理由がある場合は欠席理由書(様式不問)をもとに別途審議。
- スポーツ特待生
- *詳細については、本校の部活動顧問が推薦する生徒に対して、事前に中学校を通して案内する。(特待の内容は、「学力特待」と同じ)
- 学校法人北海道科学大学入学金免除制度
- *父か母が本校(旧校名含む)の卒業生である場合、入学金全額免除。
- *本校のホームページより申請書をダウンロードし出願時に提出すること。

日本航空高等学校 北海道

●学力特待生(若干名)

奨学生A	模擬試験で成績優秀と認められ対象となる通知を受け、学校長推薦受験で	年間36万円
奨学生B	合格した者	年間24万円

●スポーツ奨学生(対象:女子バスケットボール部)

学業の評定が基準に達し、学校長推薦受験で合格した者	スポーツ技能優秀者に対し、入学時及び在籍中にかかる諸経費に相応する奨学金を支援
---------------------------	---

(模擬試験1回以上の受験必須)

小樽双葉高等学校

入試区分	コース	資格・条件等	入学一時金給付額	奨励金給付内容
専願	特別進学	学習ランクA、B	10万円	奨励金18万円(3年間計)
		学習ランクC、D	10万円	奨励金6万円(3年間計)
		活気ある学園づくりに貢献(中学校での活動実績等で決定。出願前に相談)	10万円	奨励金18万円(3年間計)
			10万円	-
	共通	スポーツクラブ・文化教室などでチャレンジする生徒を支援(出願前に相談)	10万円	活動奨励金(個別審議)
		生徒募集要項に記載されている出願要件を満たす者	5万円	-
		保護者が本校の全日制課程を卒業した者	10万円	-
		生活保護受給世帯	15万円	-
		非課税世帯	10万円	-
		中学校での実績等により、本校の基準で決定	10万円	奨励金18万円(3年間計)
強化指定部推薦	総合進学	生徒募集要項に記載されている出願要件を満たす者	5万円	-
		保護者が本校の全日制課程を卒業した者	10万円	-
		生活保護受給世帯	15万円	-
		非課税世帯	10万円	-
			10万円	-
一般	特別進学	学力試験85%以上	10万円	奨励金18万円(3年間計)

- *複数の制度に該当する場合は、給付金額の最も大きな制度のみ適用。
- *奨学生資格については毎年継続審査あり。

5. 学費の支援制度について

参考 授業料等の具体例

■公立高校

	全日制	定時制	備考
入学検定料	2,200 円	950 円	
入学金	5,650 円	2,100 円	
授業料（月額）	9,900 円	2,700 円	（該当者のみ）

■私立高校

受験料	15,000 円～17,000 円
入学時校納金	105,200 円～425,000 円
校納金（月額）	33,000 円～64,000 円

1 授業料への支援

保護者等の年収目安	590 万円未満程度	910 万円未満程度
公立高校	授業料相当額（月額）	
私立高校	最大 35,000 円（月額）	9,900 円（月額）

2 授業料以外での補助（奨学のための給付金）

学校	対象	年間の一人あたりの支給額
公立高校	生活保護受給世帯	全日制・定時制 32,300 円 通信制 32,300 円
	生活保護受給世帯または 住民税非課税世帯	① 第1子の全日制・定時制高校生 122,100 円
		② 第2子以降の全日制・定時制高校生 143,700 円
		③ 通信制高校生 50,500 円
学校	対象	年間の一人あたりの支給額
私立高校	生活保護受給世帯	全日制 52,600 円 通信制 52,600 円
	生活保護を受けていない 非課税世帯	① 全日制高校生（②を除く） 142,600 円
		② 2人目以降の全日制高校生 152,000 円
		③ 通信制高校生 52,100 円

3 いろいろな奨学金・私立高校入学資金貸付制度

進学の意志があり、心身・学業ともに優れていながら、経済的に苦しく学費を出すことが困難な生徒、家庭を援助する制度がある。

既に締め切られたものもあるが、高校入学後に再度申請の機会があるものもある。また、返還しなければならぬものもあるので、よく考えて決定すること。

※令和8年度の制度の詳細な内容は後日

6. 工業高等専門学校の入試について

5年制の高等専門学校は道内には下の国立工業高専4校があります。短大卒業に相当する資格が得られ、就職率も高く、修業年限が長いので専門的な学習や実習については4年制の大学以上といわれています。工業高専の場合は、数学と理科、英語の力がかなり要求されるようです。卒業後は工業系の4年制の大学の3年生に編入できる可能性があります。また、各高専とも入試は全国統一のマークシート方式の問題となります。(公立・私立との併願が可能。札幌会場での受検あり。)

- ・苫小牧工業高等専門学校→創造工学(2年次より機械系、都市・環境系、応用化学・生物系、電気電子系、情報科学・工学系)
- ・旭川工業高等専門学校→機械システム工学、電気情報工学、システム制御情報工学、物質化学工学
- ・函館工業高等専門学校→生産システム工学、物質環境工学、社会基盤工学
- ・釧路工業高等専門学校→創造工学(2年次より機械工学、電気工学、情報工学、建築)

◆複数校志望受験制度による選抜◆

北海道内4高専の「学力検査による選抜」において、函館高専3学科・苫小牧高専1学科・旭川高専4学科・釧路高専1学科のうち最大9学科を選択・出願することができるものです。

ただし、志望順位が上位の学科を優先的に合格とし、複数の学科の合格することはできません。

また、本制度で合格した場合、合格者は必ず合格した高専に入学することになります。

◆入試日程について◆

- ①受付期間…web 上の手続き 12月8日(月)～1月23日(金) ※釧路高専のみ 11/27(木)～
高専への郵送 1月19日(月)9:00～1月23日(金)16:00

- ②検定料…16,500円

- ③選抜方法…学力検査の成績と個人調査書の総合判定

・学力検査(800点満点)…国語(100点)、社会(100点)、
数学(100点×2)、理科(100点×2)、英語(100点×2)

・個人調査書(210点満点)…国・社・数・理・英(各教科5点×3か年×2)
音・美・保体・技家(各教科5点×3か年)

- ④学力検査日…令和8年2月8日(日)

- ⑤合格発表日…令和8年2月17日(火)9:00

- ⑥推薦による選抜…各高専によって出願資格、要件が異なります。

・推薦選抜願書受付期間 web 上の手続き 12月8日(月)～1月7日(水)
高専への郵送 1月5日(月)9:00～1月7日(水)16:00

※各高専で異なるため学生募集要項で確認(上記は苫小牧高専の受付期間)

・推薦面接日 令和8年1月17日(土) ※函館高専のみ 1/16(金)

・合格発表日 令和8年2月17日(火)9:00 ※推薦合格内定通知1月23日(金)9:00

7. 道外受験について

道外の高校を受験する場合は基本的に保護者の方が手続を進めることになります。北海道では受験手続の大部分を中学校が行うことが多いです。しかし、他県では保護者の責任で受験手続を進めるのが一般的です。なお、中学校を通して受験手続をしなければならない学校を希望する場合は、その旨を早くに中学校へお知らせください。

道外受験の意志を申し出ているご家庭が既にありますが、今後新たに可能性が出てきたときは、すぐに学級担任に伝えてください。いかなる理由があっても受験校は日程の遅れを認めてくれません。間違いのないように中学校と保護者の双方が連携を取ることが大切です。

◆公立高校と私立高校◆

公立高校は全国で1校しか受検することができません。従って、他県の高校を受検するときは北海道の高校を同時に受検することはできません。公立高校の入試システムは都道府県によってかなり異なっているので、日程や手続きなどに注意が必要です。また、どの都府県でも「出願資格の認定」を受けなければ出願できません。

また、私立高校の場合は全国どこでも複数受験することができますが、手続き日程が早いことが多いので、やはり注意が必要です。

◆受験校の決定◆

受験に関して確認した情報は必要に応じて学級担任を通じてお知らせしていきます。しかし、道外の高校は受験者が過去にいないことがほとんどであるため、具体的に資料を提示できないことが多いです。従って、受験校の決定はご家庭で判断するようお願いいたします。

◆ご家庭にお願いしたいこと◆

- ①受験校への問い合わせ、資料請求、願書の取り寄せ、受験手続など、道外受験に関する手続を保護者が行うことになるので、日程に気をつけて早めに動いてください。
- ②出願時に必要な個人調査書などの書類は中学校で作成します。時間がかかる場合がありますので、早めに学級担任に申し出てください。
- ③公立高校の場合は県外受検の事前説明会が開かれることがありますので、必ず保護者が出席してください。県によっては保護者の持ち込みで出願を受け付け、郵送不可場合があります。
- ④受験校の情報を積極的に集めてください。主に次のような方法があります。
 - 【受験校】 受験を考えている高校へ直接問い合わせると、色々と教えてくれます。
 - 【教育委員会】 公立高校の場合は受検先の教育委員会にも問い合わせてください。
 - 【インターネット】 受験校や受検先の教育委員会のHPに色々と情報があります。
 - 【受験情報誌】 他県の高校の情報が載っていますが、近隣だけで発売されることが多いです。
- ⑤転居がいつになるのか、正確な住所はどこになるのか、早めに学級担任に伝えてください。
- ⑥受験校の近隣に情報収集などを行ってもらえる知人などがいると心強いです。
- ⑦その他、ご家庭で確認されたことは学級担任にも伝えてください。

8. 高等学校入学者選抜

1 出願の形態

(1) 出願できる学校

以下の学校を受検（受験）することができる。

- 公立高等学校

 （道立or市立）…全日制・単位制・定時制・通信制や
 普通科・専門学科・総合学科などがある。
受検できるのは1校のみ。
- 私立高等学校

 ……受験パターンは3通り
 - ┌ A日程を1校
 - ├ B日程を1校
 - └ A日程とB日程の両方を1校ずつ→2校
- 国立高等専門学校

 ……1校のみ

※全て受検（受験）日程が異なる。最大4校（公立・私立AB、高専）の受検（受験）が可能。

「併 願」→公立高校と私立高校を併せて出願する。

「専 願」→他の高校も併せて出願できるが、その私立高等学校を第一希望とする。

「単 願」→1校のみ出願する。（私立高校を1校のみ受験する場合をいう）

1月中～下旬の受験の「早い単願」と、2月中旬（一般受験と同じ日）の「遅い単願」がある。「単願」なので、その私立高等学校にのみ出願する。

「推 薦」→高専は1月中旬、私立高校は1月中～下旬、公立高校は2月中旬に試験がある。
 私立高校と高専・公立高校の推薦基準は異なるが、中学校長の推薦を受けて出願とする「推薦」と、それを必要としない「自己推薦」がある。

(2) 出願できる学科

出願できる学科は、道内の公立高校では、1つの高等学校の1つの学科に限ると定められている。全日制と定時制、普通科とそれ以外の学科などに同時に出願できない。

※次の場合、「第2志望」又は「第3志望」が認められる。

2つ以上の学科を設置している高等学校への出願の場合、同一課程の他の学科を第2志望とする場合に「第2志望」、3つ以上の学科を設置している高等学校への出願の場合、第1志望および第2志望以外に、同一課程の他の学科への入学を併せて希望する場合に「第3志望」が認められる。

※私立高校は学校ごとに設置されている学科やコースを第2志望等にできることが多い。

普通科以外の学科のある公立高等学校（石狩地区）

工業科	琴似工業（全学科）・札幌工業（全学科）・国際情報（理数工学）
商業科	東商業（全学科）・啓北商業（未来商学）・江別（事務情報）・ 国際情報（グローバルビジネス）・千歳（国際流通）・ 有朋（事務情報）
家庭科	当別（家政）・江別（生活デザイン）
農業科	当別（園芸デザイン）
理数科等	啓成（理数）旭丘（数理データサイエンス）
体育科	恵庭南（体育）
外国語科	国際情報（国際文化）・千歳（国際教養）
総合学科	石狩翔陽・厚別・千歳北陽

9. 公立高校への出願について

1 ウェブ申請

補足1～3参照

- ・令和7年12月5日(金) オンライン入力受付開始。
- ・道立高校と市立高校では、様式が異なるので注意が必要。

【要注意】道立高校のシステムでは、データ入力後、一時保存した状態で「入力内容を出力する」で出力したデータを印刷し、中学校の点検を受けます。必ず中学校の点検で誤りがないことを確認してから入力データを出願先高校に送信します。一度送信すると、その内容を取り消すことができません。詳しくはマニュアルを確認してください。

【必要書類】入学願書、受検料、写真(3学期配付)

- 検定料は、令和8年1月15日(木)(始業式)までに提出

- ・道立高校・・・「北海道収入証紙」3枚以内で購入
 - ・市立高校・・・オンライン決済をしていない場合、
受検料を金融機関に振り込んだ後の「納付書・領収書」
- ※道立・市立ともに、全日制2,200円、定時制950円

注意事項

- ・申請要領は、出願手続マニュアルを参照すること。
- ・「署名」とかかれているところは、該当する人が記入する。
- ・「出願学科」の入力の仕方に注意が必要。
- ・現住所は、アパート・マンション名、部屋番号等を詳細に入力する。

※道立高校や私立高校・高専では、入学願書(写真台紙)に添付する証明写真をウェブ申請時にアップロードすることが可能ですが、本校では従来通りに中学校で撮影した証明写真を入学願書(写真台紙)に貼付して高校に提出します。ウェブ申請時にデータをアップロードしないようにご注意ください。

2 願書提出

- ・印刷した入学願書は、令和8年1月14日(水)10:00または13:00に中学校に登校し提出する。生徒の都合悪い場合は、保護者にご協力をお願いする。
- ※事情があり提出が難しい場合は、9:30までに学級担任へ電話連絡を入れる。
- ※検定料は、上記の通り翌日1/15(木)提出でも良い。

※出願状況発表

- ・令和8年1月26日(月)10:00
北海道教育委員会学力向上推進課のWebページで確認することができる。
- 自己推薦出願者は4自己推薦へ

3 出願変更手続き

- ・一般受検のみが対象。また、変更できるのは期間中に1度限りです。
- ・受付期間は、令和8年1月27日(火)～令和8年2月2日(月)(土日を除く)時間は9:00～16:30、ただし最終日は16:00まで。
- ・保護者の方に高校に出向いていただき、手続きを行う。
- ・道立↔市立の場合は新たに願書、受検料納付・還付などの手続きが必要。
- ・出願変更状況の中間発表は、令和8年1月29日(木)16:30に各校で掲示。当日中に北海道教育委員会学力向上推進課のWebページに発表され、確認することができる。
- ・急に転勤が決まったり引っ越さなければならなくなったなど、特別な事情が生じた場合は別途対応。出願変更期間に関係なく早めに連絡すること。

※出願変更後の
出願状況発表

4 自己推薦

- ・令和8年2月12日(木) 10:00
北海道教育委員会学力向上推進課のWeb ページで確認することができる。

- ・自己推薦受検者のみが該当
- ・令和8年2月10日(火) に選抜を行う。
- ・全日制では、面接以外に、英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技及び作文、適性検査を実施する学校もある。
- ・試験結果は、令和8年2月18日(水) までに中学校に届く。
合格内定の場合は、「入学確約書」を提出。→7合格発表へ
内定とならなかった場合は、当初出願の課程・学科に関わりなく「再出願」することができる。受付期間は令和8年2月19日(木) から。2月24日(火) 16:00 が高校の締切。→5学力検査へ

※再出願後の
出願状況発表

5 学力検査 面接・実技

- ・学力検査は令和8年3月4日(水)、面接・実技は5日(木) に実施。
- ・前日の検査会場公開は実施されない。

検査時間	9:20 ~10:15	10:35 ~11:30	11:50 ~12:45	13:35 ~14:30	14:50 ~15:45
教科	第1部 国語	第2部 数学	第3部 社会	第4部 理科	第5部 英語

- ・解答時間は50分で、検査時間の冒頭5分で問題配付等を行う。
- ・定時制高校では、3月4日(水)の朝から面接実施。
- ・面接は5日(木)に実施するが、遠方から受験する生徒などは、高校の判断で4日(水)に実施することもある。
- ・感染症感染者等については、無理をせず、追試験の受検を検討すること。ただし、本人及び保護者の意向により、本検査の受検を希望する場合は、特別検査室での受検が可能である。
- ・本検査を受検できないものは、すぐに中学校に連絡を。

6 追検査

- ・令和8年3月11日(水)に出願先高等学校で実施される。
- ・対象は、学校保健安全法第19条で出席停止扱いが定められている感染症により本検査を受検できない者など。

7 合格発表

- ・令和8年3月17日(火) 10:00にWeb上で発表。高校での掲示はなし。推薦で合格内定となった生徒も一緒に発表。
- ・公立高校受検者は全員、この日中学校に登校し、「入学先最終確認書」を提出。
- ・公立高校進学を辞退した生徒分が「欠員」となり、追加合格が行われる。

8 追加合格

- ・令和8年3月18日(水) 9:30~16:30までに中学校に連絡。
- ・追加合格の対象になっている生徒はこの期間、確実に連絡が取れるようにしてください。本人及び保護者に入学の意思を確認します。
- ・私立高校の入学手続き日に注意。この日までの学校もあり。募集要項に記載されているので必ず確認を。

※学力検査の得点の
情報提供

・情報提供の期間

令和8年3月18日(水)～令和13年3月31日(月)

・情報提供の集中受付期間

令和8年3月18日(水)～令和8年3月26日(木)に、本人が受検票と身分証明書を持参し、出願した高校の事務室へ行くと、本人の学力検査の合計得点及びその教科別得点を開示できる。

9 2次募集

・入学予定者の数が募集人員に満たないときにのみ行われる。

「その学校が昨年実施したから今年も必ずある」とは限らない。

・募集人員は、令和8年3月19日(木)9:00に各高等学校で掲示。

当日中に北海道教育委員会学力向上推進課のWebページで発表される。当初出願に関係なく自由に出願先を選択できるが、全日制普通科に出願する場合は、学区の制限を受ける。

・次の場合、2次募集の出願資格がない。

(1)当初の入学者選抜で合格した者(入学辞退した者も含む)

(2)推薦入学者選抜で、面接を欠席した者、または合格内定後入学確約書を提出しなかった者

・北海道有朋高等学校との両方に出願することはできないので注意を。

・一般受検で学力検査を欠席した者や当初出願をしなかった者も2次募集に出願することはできる。

・出願受付期間は、令和8年3月23日(月)～3月24日(火)16:30。

新たに願書(ウェブ申請ではなく手書きで作成)や受検料、写真が必要。

保護者の方に高校に出向いていただき、手続きを行う。

10 2次合格 発表

・令和8年3月27日(金)までに合格者に通知。

※定時制課程においては、第2次募集終了後、欠員がある場合は、令和8年4月17日(金)までの間に選抜を行うこともある。

「特別な配慮を必要とする生徒」の出願について

公立高等学校の受検に際し、特別な配慮が必要な場合、事前に中学校から高等学校に申し出て、配慮内容に対する事前協議が必要。また相談窓口のアドレスも掲載。配慮が必要な場合、できる限り早く中学校にも相談すること。この場合、冬休み中には協議を終えることが原則。

補足1. 出願できる学科

- ① 原則的に、1つの高等学校の1つの学科に限り出願できる。
- ② 複数科がある高校については、次の場合「第2志望」又は「第3志望」の出願が認められる。
 - ア 2つ以上の学科を設置している高等学校への出願の場合、同一課程の他の学科を第2志望とする場合
 - イ 3つ以上の学科を設置している高等学校への出願の場合、第1志望および第2志望以外に、同一課程の他の学科への入学を併せて希望する場合
- ③ 有朋高校は受検日が異なるが、他の公立高等学校との重複して出願することはできない。

補足2. 現住所の表記方法について

- ・札幌市が定める住所の表記法で手稲東中学校の住所を表記すると
札幌市西区西野2条5丁目3番1号 となります。
- ・もしも、上記住所にマンションが建っていて、503号室に住んでいるとすると、
札幌市西区西野2条5丁目3番1—503号という表記の仕方になります。

入学願書では、郵便物が確実に届くようにするために、集合住宅などでは
札幌市西区西野2条5丁目3番1号 ABCマンション503号室 と表記します。

補足3. 学区による制限について（全日制普通科のみ次のような制限があり）

- ・その学校の本来学区以外から入学できるのは、募集定員の10%以内。
ただし、募集定員120人以下の高校は50%以下になる。
（例1）石狩学区から空知南学区月形高等学校（定員40名）を受検する場合
空知南学区以外から入学できる生徒が募集定員の50%以内であるため、20人までという制限がかかる。
（例2）石狩学区から後志学区の小樽潮陵高等学校（定員200名）を受検する場合
後志学区以外から入学できるのは募集定員10%以内であるため、20人までの制限がかかる。

※学区とは在籍中学校の住所ではなく、保護者の居住の存するところが基準となる。

市教委の特認を受けている場合や、すでに石狩学区へ住所変更している（または転居予定）の場合は、その住所ある学区からの出願となる。担任に早めに相談してください。

※普通科への推薦選抜の場合、保護者の居住学区の高校へのみの出願となり、それ以外の高校へは出願できません。

※北海道以外の他都府県の出願を希望する場合、道教委や都府県教委、受検する高校に対して、事前の問い合わせが必要になります。また、受検の手続きや時期、内容も都府県によってすべて異なるため、注意が必要です。保護者の転勤等で他都府県を受検する方も、早めに担任に申し出てください。

補足4. 推薦による選抜について

1. 面接等の実施内容について

- ・ 英語による問答を実施
札幌啓成【全】、札幌国際情報【国際文化科】、市立札幌清田【グローバル】、千歳【国際教養科】
- ・ 英語の聞き取りテストを実施
市立札幌清田【全】
- ・ 自己推薦書を提出
推薦を実施するすべての学校
- ・ 適性検査を実施
市立札幌旭丘【全】
- ・ 実技を実施
市立札幌平岸【デザインアート】、恵庭南【体育科】
- ・ 作文を実施
市立札幌藻岩、市立札幌平岸【普通】

2. 推薦選抜の方法

- ・ 「面接」及び「自己推薦書」、「個人調査書」、「『英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技、作文、適性検査』を実施した場合はその結果」を総合的に判断して、合否が決定される。

3. 合格内定者の通知と入学の確約

- ・ 令和8年2月18日（水）までに中学校長を通して通知される。
- ・ 合格内定者は、「入学確約書」を2月19日（木）～2月24日（火）16:00に出願先の高校に提出しなければならない。

※面接を欠席した者は、どの公立高校にも再出願できない。また、第2次募集にも出願できない。

4. 再出願

- ① 合格内定にならなかった者は、課程・学校・学科にも制限なく、再出願（一般受検）することができる。ただし、面接を欠席したものおよび「入学確約書」を提出しなかった者は再出願できない。
- ② 再出願の受付
2月19日（木）～2月24日（火）16:00まで
- ③ 提出書類
再出願を提出。また、道立→市立、市立→道立への再出願の場合、入学願書を作り直し、入学検定料を再び納入する。
- ④ 再出願後の出願状況
3月2日（月）11:00 北海道教育委員会学力向上推進課のWeb ページで確認できる。
- ⑤ 合格発表
一般の場合と同様、令和8年3月17日（火）10:00に各高校のWeb にて合格者の受検番号が掲載されるとともに、本人に通知される。

10. 北海道有朋高等学校入学者選抜について（前期）

1 単位制による定時制の課程

1. 自己推薦入学者選抜

- ① 募集人員
各科の募集人員の30%程度
- ② 出願資格（出願者本人が判断）
 - ・ 出願する動機、理由が明確であり、自主的に学習できる強い意志を有する者
 - ・ 普通科においては、特定分野などに対する適性、興味・関心及び学習意欲を有する者
 - ・ 事務情報科においては、事務情報科に対する適性、興味・関心及び学習意欲を有する者
- ③ 出願の受付
 - ・ 他の公立高校の推薦者入学選抜と同様
- ④ 出願できる学科
 - ・ 「普通科」と「事務情報科」 ※出願変更はできません。
- ⑤ 入学者の選抜等
 - ・ 令和8年2月10日（火）に面接を実施しその結果と個人調査書、自己推薦書の内容を総合的に判断する。学力検査は実施しない。

- ⑥ 合格内定者の通知と入学の確約
 - ・ 他の公立高校の推薦者入学選抜と同様。
- ⑦ 再出願
 - ・ 他の公立高校の推薦者入学選抜と同様。

2. 一般入学者選抜

- ① 出願できる学科
 - ・ 「普通科」と「事務情報科」
- ② 出願の受付
 - ・ 令和8年3月10日（火）～3月18日（水）15:00（土日を除く）
ただし、公立高校に出願している者は、出願することができない。（
※3月17日（火）の合格発表で不合格となった者は、出願することができる。あらかじめ願書を用意しておかないと間に合わなくなる可能性があるので注意
- ③ 入学者の選抜等
 - ・ 令和8年3月24日（火）に作文と面接を実施し、その結果と個人調査書を総合的に判断する。学力検査は実施しない。
- ④ 合格発表
 - ・ 令和8年3月30日（月）10:00
有朋高校のWeb ページに合格者の受験番号を掲載とともに本人に通知する。

2 通信制の課程

1. 自己推薦入学者選抜

- ① 出願できる学科
 - ・ 「普通科」
- ② 出願の受付
 - ・ 令和8年2月13日（金）～3月18日（水）15:00（土日祝日を除く）
 - ・ 有朋高等学校単位制と両方に出願できない。
 - ・ 公立高校に出願している者は出願することができない。
※3月17日（火）の合格発表で不合格となった者は、出願することができる。あらかじめ願書を用意しておかないと間に合わなくなる可能性があるので注意
- ③ 入学者の選抜等
 - ・ 個人調査書又は出願理由書により入学者の選抜を行い、学力検査は実施しない。
- ④ 合格発表
 - ・ 令和8年3月30日（月）に本人に通知される。

11. 市立札幌大通高等学校の入学者選抜について

1 自己推薦入学者選抜

- ① 募集人員
 - ・ 「午前部」30名程度、「午後部」30名程度、「夜間部」50名程度
- ② 出願資格（出願者本人が判断）
 - ・ 大通高校のスクール・ポリシーを理解しており、出願する動機、理由が明確な者。
 - ・ 大通高校で学ぶことに高い意欲を有する者。
- ③ 出願の受付
 - ・ 他の公立高校の推薦者入学選抜と同様。
- ④ 出願できる部
 - ・ 1つの部に限るものとするが、他の部を「第2志望」または「第3志望」とすることができ、※出願変更はできない。
- ⑤ 入学者の選抜等
 - ・ 令和8年2月10日（火）に面接と作文を実施し、その結果と個人調査書、自己推薦書の内容を総合的に判断する。学力検査は実施しない。
- ⑥ 合格内定者の通知と入学の確約
 - ・ 他の公立高校の推薦者入学選抜と同様。
- ⑦ 再出願
 - ・ 他の公立高校の推薦者入学選抜と同様。

2 一般入学者選抜（前期）

- ① 募集人員
 - ・ 「午前部」80名程度、「午後部」60名程度、「夜間部」40名程度
- ② 出願できる部
 - ・ 1つの部に限るものとするが、他の部を「第2志望」または「第3志望」とすることができ、※第3志望については、該当部の合格者が募集人員に達しない場合に選抜の対象となる
- ③ 出願変更
 - ・ 定時制の高等学校に1回出願を変更することができる。
- ④ 入学者の選抜等
 - ・ 他の公立高校の入学者選抜と同様に
学力検査 令和8年3月4日（水）、面接 3月5日（木）
- ⑤ その他
 - ・ 前期は他の公立高校の入学選抜と同様。
 - ・ 後期は令和8年9月3日（木）に募集人員が合計15名程度の後期入学者選抜が行われる。
出願期間は令和8年8月21日（金）～8月28日（金）（土日を除く）。
中学校卒業後のため、受検の手続きは直接高校に出向いて本人が行う。

12. 私立高校の入学者選抜について

出願の手順

札幌市内・近郊の私立高校は全て Web 出願。
願書配付はなし。ご家庭で Web 出願の手続きを行ってください。

1 募集要項等の配付

- ・ 1 月受験 2 学期末懇談の場で、2 月受験 1 月 15 日（木）に配付

【必要書類】入学願書、写真（3 学期照付）※特待生（奨学生）申請書

注意事項

- ・ 高校ごと、Web 出願手続きの方法が異なるのでよく確認すること。
- ・ 特待（奨学生）は、チェックし忘れないように。
- ・ 申込内容の確認をしっかりとってから、「受験料（検定料）」の支払いを行うこと。
- ・ 現住所の記入の仕方は、前述の通りに行う。
- ・ 出願方法が分からないときや願書（入力情報）の訂正をする時は、出願先の高校に直接問い合わせて確認すること。
- ・ 願書等は自宅等で印刷して中学校へ提出すること。

※道立高校や私立高校・高専では、入学願書（写真台紙）に添付する証明写真をウェブ申請時にアップロードすることが可能ですが、本校では従来通りに中学校で撮影した証明写真を入学願書（写真台紙）に貼付して高校に提出します。ウェブ申請時にデータをアップロードしないようにご注意ください。

2 願書の提出

- ① 1 月受験は、令和 7 年 12 月 19 日（金）までに提出
 - ② 2 月受験は、令和 8 年 1 月 20 日（火）までに提出
- 生徒が欠席の場合は、保護者にご協力をお願いします。

3 入学試験

- ① 1 月の入学試験は、学校ごとに日程が異なるので募集要項で確認すること。
- ② 2 月一般受検の試験日
A 日程・・・2 月 13 日（金）、14 日（土）
B 日程・・・2 月 17 日（火）、18 日（水）
各日程の前日に試験会場の下見を行う学校もある。

4 合格発表

- ① 1 月受験は、2 月初旬までに各学校で発表される。多くの高校で、入学手続きを 1 週間程度の間に行わなければならない。
 - ② 2 月受験は 2 月下旬から 3 月初旬に行われる。入学手続きは、公立高校の合格発表の頃を締切とする高校が多い。
- ※ほとんどの高校で合格発表は Web 発表となりますが、平日の場合は中学校を遅刻・欠席して確認しないようにご協力をお願いします。

13. 推薦による入学者選抜について

1 推薦入学者選抜制度の趣旨

1. 北海道教育委員会が定めた規定

高等学校が期待されている社会的役割を果たし、目指すべき学校像を実現するために、また、中学生が「入学者の受入れに関する方針」に合った学校に出願できるようにするため、推薦による入学者の割合を（範囲内で）学校ごとに決めることとし、合わせて中学生が自己推薦できるようになる。

※受検機会が1回増えるから、筆記試験がないので…という趣旨のものではありません。

2 出願資格

1. 本校の推薦基準 ※「自己推薦」は、中学校内での資格審査は行いません。

(1) 第1志望であり、合格したら必ず入学すること。

（ただし、札幌日本大学高等学校の自己推薦Ⅲはこの限りではない。）

(2) 出願する動機・目的・理由が明確で適切であり、適性・興味・関心及び学習意欲が充分にあること。

(3) 出願先の高校が示した条件や基準を十分に満たしていると中学校の様々な場面で判断できるもの。

① 公立高校において、「入学者の受入れに関する方針」、学科やコースへの適性を満たしていること。また、入学後もその高校の学習についていけるもの。

② 私立高校においては、その学校の出願条件を満たすこと。

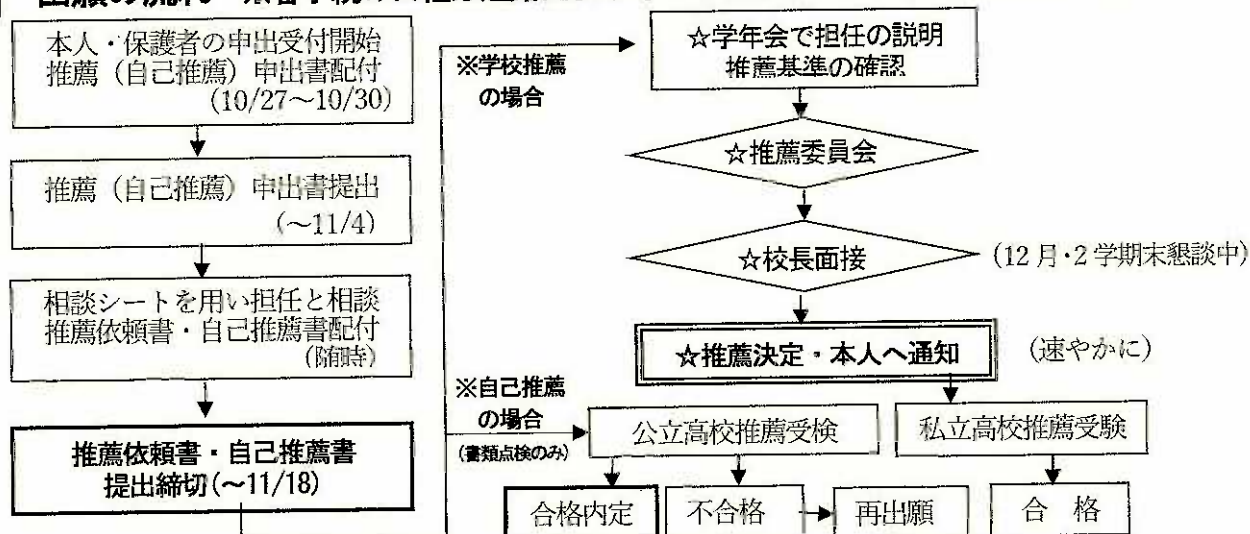
③ 高等専門学校においては、各校が定めるアドミッション・ポリシーや成績などの基準を満たす生徒であること。

(4) 出願先の高校に3年間（高専の場合は5年間）きちんと在学し、卒業することが確実であると見込まれるとともに、様々な活動場面で中心的な活躍が期待できること。

(5) 3年間の中学校生活において、生活・行動面で問題がなく規範意識が充分と認められること。

(6) 本人の希望と保護者の希望が一致しており、保護者からの依頼に基づくものであること。

3 出願の流れ ※各手続の日程は進路だより等でもお知らせします。期限厳守です。



- 全てにおいて期日厳守！締切日以降の申し出や書類提出は一切認められない！
- 対象となるのは、①私立高校学校推薦、②公立高校・高等専門学校自己推薦。
私立高校、広域通信制高校、専修学校等の自己推薦については、出願手続の1つとして押さえ、ここでの基準とは別のものとして扱い、進めていく。そのため推薦・自己推薦希望の申し出期間に関わらず、必要な時期に受け入れ、対応していく。
- 安易な気持ちで推薦入試を受けると、かえって窮屈な高校生活を送ることになるかもしれない。「推薦入試」を考える者は保護者と慎重に相談をする必要がある。
- 中学校側から、(公立高校・私立高校ともに)推薦を進めることはない。推薦を希望する生徒本人・保護者から「推薦(自己推薦)申出書」を提出することで手続が始まる。希望者は10月27日(月)～30日(木)の期間に担任から用紙を受け取り、11月4日(火)までに提出する。・・・[資料ページ](#)参照
- 次に、生徒が「相談シート」を作成し、担任と推薦(自己推薦)出願するかどうかの相談を行う。
- 推薦(自己推薦)出願を決断した生徒は「推薦依頼書」または「自己推薦書」を作成して、11月18日(火)までに担任へ提出する。・・・[資料ページ](#)参照
- 「推薦依頼書」は中学校として推薦できる人物かどうかを決定する上でとても重要な資料になる。従って、下書きを担任にチェックしてもらい、期日までに清書したものを準備しなければならない。
- 「推薦依頼書」「自己推薦書」を提出できるのは、担任に推薦(自己推薦)申出書を提出し、担任と相談を行った生徒のみ。また、推薦(自己推薦)の申し出が遅くなるほど、「推薦依頼書」「自己推薦書」の作成に充てる日数が少なくなる。

4 公立高校の推薦

1. 対象学科

① 普通科(札幌市・石狩学区の全日制高校)

札幌旭丘、札幌平岸(普通科普通コース・普通科デザインアートコース)、札幌藻岩
札幌清田(普通科普通コース・普通科グローバルコース)、札幌新川
札幌国際情報、札幌啓成、札幌北陵、札幌手稲、札幌丘珠、札幌西陵、札幌白石、
札幌東陵、札幌真栄、札幌英藍、札幌白陵、野幌、大麻、千歳、北広島、当別、恵庭南、恵庭北

② 普通科以外(札幌市・石狩学区の全日制高校)

札幌旭丘(数理データサイエンス科)、札幌啓北商業(未来商学科)、札幌啓成(理数科)
札幌国際情報(国際文化科・理数工学科・グローバルビジネス科)、
札幌工業(機械科・電気科・建築科・土木科)、
札幌琴似工業(電子機械科・電気科・情報技術科・環境化学科)、
札幌東商業(流通経済科・国際経済科・会計ビジネス科・情報処理科)、
江別(事務情報科・生活デザイン科)、当別(園芸デザイン科・家政科)、
恵庭南(体育科)、石狩翔陽(総合学科)、札幌厚別(総合学科)、千歳北陽(総合学科)
千歳(国際教養・国際流通)

③ 定時制(札幌市・石狩学区の高校)

札幌大通(普通科)、札幌有朋(普通科・事務情報科)、札幌東(普通科)、
札幌西(普通科)、札幌南(普通科)、札幌北(普通科)、札幌月寒(普通科)、
札幌琴似工業(電子機械科・電気科)

2. 入学者の定員(石狩学区の高校)

- 「普通科」・・・募集人員10～40%の範囲で10%ごとに、各学校が決定
- 農業、水産に関する学科・・・50～90%の範囲で10%ごとに、各学校が決定
- その他の学科・・・30～50%

3. 推薦選抜の方法

- ・ 面接は、令和8年2月10日（火）に行う。
- ・ 「面接」及び「自己推薦書」、「個人調査書」、「『英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技、作文、適性検査』を実施した場合はその結果」を総合的に判断して、合否が決定される。

4. 合格内定者の通知と入学の確約

- ・ 令和8年2月18日（水）までに結果が中学校に通知される。（家庭には通知されない）
もしも合格内定とならなかった場合は、再出願で一般選抜を受けることができる。

5 私立高校の推薦

- ① 私立高校の推薦制度を利用する場合は、当然その高校への進学を第1志望としていなければならない。高校によっては合格したら必ず入学することを約束した上で、不合格の場合に備えて公立高校への出願を認めているところもある。（出願した私立高校に合格した場合、公立高校の学力検査は辞退。）
- ② 入学者の選抜は、「個人調査書」と「面接」によって行われる。高校の中には、学力検査や作文を実施するところもある。また、特待生制度や入学後の参考のために、一般入試の日に学力検査を受けることもある。
- ③ 成績面の推薦基準（学習点）は各高校によって異なるが、学校推薦の場合は推薦委員会の審議を経て、学校長の推薦を受けた者でなければならない。
- ④ 出願資格
 - ・ 公立高校の推薦入試者選抜の「出願資格」に準じる。
 - ・ 各私立高校で推薦条件として示している成績の基準に達していなければならない。
 - ・ スポーツ推薦では、高等学校側が「高い技術をもっていて推薦にふさわしい」と判断された生徒のみが対象になる。生徒本人・保護者から又は中学校側から打診することはできない。

令和8年度(2026年度)公立高等学校推薦入学者選抜実施校における

全日制課程の「入学者の受入れに関する方針等」一覧表

(札幌市立・知内町立・奥尻町立・音威子府村立・三笠市立・大空町立・浜中町立・ニセコ町立高等学校を除く)

推薦枠の「*」は、募集人員から連携型入学者選抜による合格内定者数を減じた数に対する推薦枠の割合を意味する。

各高等学校では、スクール・ポリシー(育成を目指す資質・能力に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針)を、それぞれの学校のウェブページ等で公表しています。

学区	学校名	学科名	推薦枠	入学者の受入れに関する方針
石狩	札幌啓成	普通	10%	本校で学ぶ動機が明確であり、何事にも幅広く興味・関心を持ち、主体的に取り組む資質・能力を有する次の全てを満たす生徒 1 学習及び諸活動に真摯に取り組む生徒 2 リーダーとしての資質を有する生徒 3 高い進路意識を持ち邁進する生徒
		理数	30%	本校で学ぶ動機が明確であり、何事にも幅広く興味・関心を持ち、主体的に取り組む資質・能力を有する次の全てを満たす生徒 1 学習及び諸活動に真摯に取り組む生徒 2 高い進路意識を持ち邁進する生徒 3 グローバルに活躍する科学技術系リーダーとしての資質を有する生徒 4 優れたコミュニケーション能力、高い汎用能力などの資質を有する生徒
	札幌北陵	普通	20%	基本的な生活習慣が身に付いており、次の両方を満たす生徒 1 大学進学等、将来への目的意識をしっかりと持ち、何事にも積極的に、絶えず向上しようとする熱意のある生徒 2 スポーツ・文化芸術・生徒会活動等にも積極的に取り組み、今後もしリーダーシップを発揮し活躍できる生徒
	札幌手稲	普通	20%	次のいずれかに該当する生徒 1 高い目的意識を持ち、大学進学等に向けた発展的な学習に取り組む学習意欲にあふれた生徒 2 スポーツ・文化芸術・生徒会活動等に積極的に取り組み、大学進学等に向けた学習との両立を図る活動意欲にあふれた生徒
	札幌丘珠	普通	30%	次のいずれかに該当する生徒 1 自己の成長と進路目標実現に向かって意欲的に学習する生徒 2 部活動や生徒会活動等に積極的に参加し、自己実現を目指す生徒 3 国際文化交流への関心が高く、積極的に交流活動に参加する生徒
	札幌西陵	普通	10%	次に示すような姿勢を持つ生徒の入学を期待する。 1 学ぶ意欲を持ち、基礎・基本の知識・技能を身に付けようと努力する生徒 2 身に付けた知識・技能を、現実の課題解決のために活用し、思考・判断・表現しようとする生徒 3 自らの理想を持ち、その実現の為に挑戦しようとする生徒 4 多様な人々と協働して、課題解決をしようとする生徒
	札幌白石	普通	20%	次に示す生徒の入学を期待する。 ○ 日々の努力を大切に積み重ね、自己の可能性に挑戦し続ける生徒 ○ 学習と部活動等の課外活動との両立を目指し、文武両道の精神で学校生活を送る意欲を持った生徒
	札幌東陵	普通	10%	次の全てを満たす生徒 1 明確な進路目標を持ち、日々の努力を大切に積み重ね、様々な課題の解決に向けて自ら考え、主体的・協働的に学び続ける生徒 2 基本的な生活習慣を身に付け、生徒会活動やスポーツ、文化・芸術、社会貢献活動等に継続的に取り組み、個性を伸ばそうとする生徒
	札幌真栄	普通	20%	次の両方を満たす生徒 1 進路実現に向けて自主的・意欲的に学習に取り組む生徒 2 スポーツ・文化芸術・生徒会活動などに積極的に取り組み、学習との両立を図る生徒
	札幌英藍	普通	20%	本校の目指す生徒像を実現するため、入学者について次のとおり期待する。 1 基本的な生活習慣が身に付いており、正しい判断と行動をしようとする生徒 2 進路目標が明確で、その実現に向けて絶えず意欲的に努力しようとする生徒 3 学校生活をとらして、学習、部活動、生徒会活動等で活躍しようとする生徒

学区	学校名	学科名	推薦枠	入学者の受入れに関する方針
石狩	札幌国際情報	普通	30%	普通科の目標 探究的な学びを通じて、知識や技能の習得と活用を繰り返しながら、社会の課題に対して当事者意識を持ち、多様な他者と協働して考え、議論し、より良い解決策を見いだすことで、未来を創造する主体として行動しようとする態度を養う。 1 礼儀正しく、自他の価値を認め、互いに協力し合う生徒 2 旺盛な知的探究心を持ち、将来の目標に向かって意欲的に学習に取り組む生徒 3 学校行事・部活動・生徒会活動等に積極的に取り組む生徒
		国際文化	50%	国際文化科の目標 異文化への深い理解と多文化共生への意識を高め、広い視野でグローバルな課題の解決に向けて主体的に議論し、積極的に発信できる人材を育成する。 1 礼儀正しく、自他の価値を認め、互いに協力し合う生徒 2 旺盛な知的探究心を持ち、将来の目標に向かって意欲的に学習に取り組む生徒 3 学校行事・部活動・生徒会活動等に積極的に取り組む生徒
		理数工学	50%	理数工学科の目標 工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、グローバル社会における工業の意義や役割を理解させるとともに、環境に配慮しつつ、工業技術の諸問題を主体的、合理的に解決し、社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。 1 礼儀正しく、自他の価値を認め、互いに協力し合う生徒 2 旺盛な知的探究心を持ち、将来の目標に向かって意欲的に学習に取り組む生徒 3 学校行事・部活動・生徒会活動等に積極的に取り組む生徒
		グローバルビジネス	50%	グローバルビジネス科の目標 商業に関する各分野についての知識と技術を習得させ、起業の精神にあふれ、国内はもとより国際社会におけるビジネス活動に適切に対応するために必要な能力と態度を育てる。 1 礼儀正しく、自他の価値を認め、互いに協力し合う生徒 2 旺盛な知的探究心を持ち、将来の目標に向かって意欲的に学習に取り組む生徒 3 学校行事・部活動・生徒会活動等に積極的に取り組む生徒
	江別	事務情報	50%	次のいずれかに該当する生徒 1 教科学習にとどまらず、部活動や生徒会活動に積極的に参加する意思を持つ生徒 2 社会における多様性を理解し、協働的に動く生徒 3 自分の暮らす地域に興味を持ち、地域の未来を主体的に考える生徒 4 変化を畏れず、自己変革に努めようとする生徒 5 教科学習はもとより、様々な学校教育活動において積極的に取り組む生徒 6 学科の特性・専門性を理解し、知識と技能の修得を目指した生徒 7 社会の多様性を理解し、主体的にICT社会での活躍を目指した生徒
		生活デザイン	50%	次のいずれかに該当する生徒 1 教科学習にとどまらず、部活動や生徒会活動に積極的に参加する意思を持つ生徒 2 社会における多様性を理解し、協働的に動く生徒 3 自分の暮らす地域に興味を持ち、地域の未来を主体的に考える生徒 4 変化を畏れず、自己変革に努めようとする生徒 5 教科学習はもとより、様々な学校教育活動において積極的に取り組む生徒 6 学科の特性・専門性を理解し、知識と技能の修得を目指した生徒 7 社会の多様性を理解し、主体的に実社会での活躍を目指した生徒
	野幌	普通	20%	次の全てを満たす生徒 1 客観性を持ち社会に貢献しようとする生徒 2 自ら考え、向上心を持ち、努力を継続しようとする生徒 3 多様性を認め、お互いの存在を尊重しようとする生徒
	大麻	普通	30%	次のいずれかに該当する生徒 1 自分の進路に対する明確な目標を持ち、主体的に学習に取り組むことのできる生徒 2 基本的な生活習慣が身に付いており、部活動・生徒会活動等に積極的・意欲的に取り組むことのできる生徒

学区	学校名	学科名	推薦枠	入学者の受入れに関する方針
石狩	千歳	普通	20%	地域の人材育成を目指すなどの本校の特徴をよく理解するとともに、自らをアピールできるものを持ち、基礎学力や基本的な生活態度を身に付け、将来の夢や希望を実現させようとする気概にあふれた生徒で、次のいずれかに該当する生徒 1 意欲的に自ら学び、探究し、適切に表現しようとする生徒 2 豊かな感性を持ち、多様性を尊重する生徒 3 国際的視野で物事を考えようとする生徒 4 地域を理解し、地域に貢献しようとする気概を持った生徒 5 健康で安全な生活を目指し、環境保全と美化に努めようとする生徒 6 部活動や生徒会活動などの特別活動に意欲的に取り組もうとする生徒
		国際教養	50%	
		国際流通	50%	
	北広島	普通	30%	本校で学ぶにあたり基礎的な学力を有し、次の全てを満たす生徒 1 自らの目標に向かってチャレンジする生徒 2 周囲を思いやるハートを持つ生徒 3 学校行事、部活動等にポジティブに取り組む生徒
	当別	普通	40%	次のいずれかに該当する生徒 1 本校のスクールミッションを理解し、主体的な学習活動を継続できる生徒 2 教育目標、育成すべき資質・能力を理解し、自己実現に挑戦できる生徒 3 多様な人々と協働して学ぶ意欲を持っている生徒 4 明確な進路目標を持って、積極的に学習に取り組もうとする生徒 5 目的意識を持って、生徒会活動・部活動・ボランティア活動等に取り組もうとする生徒
		園芸デザイン	90%	次のいずれかに該当する生徒 1 本校のスクールミッションを理解し、主体的な学習活動を継続できる生徒 2 教育目標、育成すべき資質・能力を理解し、自己実現に挑戦できる生徒 3 多様な人々と協働して学ぶ意欲を持っている生徒 4 命あるすべてのものを愛し、農業に興味・関心があり、明確な目標を持ち続け、専門的知識を身に付けようとする生徒
		家政	50%	次のいずれかに該当する生徒 1 本校のスクールミッションを理解し、主体的な学習活動を継続できる生徒 2 教育目標、育成すべき資質・能力を理解し、自己実現に挑戦できる生徒 3 多様な人々と協働して学ぶ意欲を持っている生徒 4 調理または保育に対する興味・関心および学習意欲を持ち続け、専門知識を身に付けようとする生徒 5 進路希望が明確で、部活動と学習の両立をはかり、前向きな学校生活を送る意志を持っている生徒
	恵庭南	普通	20%	次の全てを満たす生徒 1 基本的な生活習慣と基礎学力が身に付いている生徒 2 学業と体育・文化活動等の両立に努めようとする生徒 3 個性を認めあい、他者と協働して粘り強く努力する生徒 4 明確な進路目標を持ち、その実現に向け努力する生徒
		体育	50%	次の全てを満たす生徒 1 体育科に関する高い適性、興味・関心を持っている生徒 2 文武両道を目指す意欲と態度を身に付けている生徒 3 個性を認めあい、他者と協働して粘り強く努力する生徒 4 明確な進路目標を持ち、その実現に向け努力する生徒
	恵庭北	普通	10%	次のいずれかに該当する生徒 1 人物・学業に優れ、将来への明確な目標を持って、その実現に向けて地道な努力を続ける生徒 2 芸術・スポーツ等の活動に強い意欲と関心を持ち、教科等の学習との両立を図りながら、積極的に取り組む生徒
	札幌白陵	普通	20%	学業、人物とも優秀で、次の全てを満たす生徒 1 自分の意志で学習に取り組む生徒 2 他者と共に学び合い、お互いに成長したいと考える生徒 3 社会に貢献するために自分の力を高めたいと考える生徒

学区	学校名	学科名	推薦枠	入学者の受入れに関する方針
石狩	札幌工業	機械	50%	次のいずれかに該当する生徒 1 工業に対する興味関心があり、本校で学習したいという意欲を持った生徒 2 学習に積極的に取り組み、進路目標が明確で健全な高校生活を送る意欲を持っている生徒
		電気	50%	
		建築	50%	
		土木	50%	
	札幌琴似工業	電子機械	50%	次の全てを満たす生徒 1 ものづくりに興味があり、技術を習得し、将来、地域社会に貢献し、活躍しようと考えている生徒 2 将来に向けて目標を持ち、何事にも積極的に取り組もうとする生徒 3 自分自身を大切にするとともに、他者を尊重できる生徒
		電気	50%	
		情報技術	50%	
		環境化学	50%	
	札幌東商業	流通経済	50%	次のいずれかに該当すること 1 ビジネスに興味・関心を持ち、持続的に学習に取り組む生徒 2 基本的な生活習慣を身に付け、何事にも積極的に取り組む生徒 3 課題解決に自ら積極的に、他者と協調して取り組む生徒
		国際経済	50%	
		会計ビジネス	50%	
		情報処理	50%	
	石狩翔陽	総合	50%	次のいずれかに該当する生徒 1 将来の夢や目標を持ち、または自ら見つけようとする強い意志を持ち、実現に向けて学習に意欲的に取り組もうとする生徒 2 学校行事、生徒会活動、部活動、ボランティア活動、地域社会との交流等、様々な活動に積極的に取り組もうとする生徒 3 困難なことに対してもあきらめずにやり抜こうとする生徒 4 善悪の判断や思いやりの心を持ち、仲間と協力して学校生活を送ることができる生徒
	札幌厚別	総合	50%	次の全てを満たす生徒 1 将来の夢を持ち、それに向かって意欲的に学習に取り組む生徒 2 学校行事、生徒会活動、部活動、地域社会との交流等、様々な活動に積極的に取り組む生徒 3 人や文化・芸術の多様性を理解し、地域・他者とのつながりを大切にできる生徒
	千歳北陽	総合	50%	本校の系列（本校ではクラウドと呼ぶ）に置く科目を有効に活用でき、次に示すような姿勢を持つ生徒の入学を期待する。 1 地域の課題解決に向かって主体的に学びを深めようとする生徒 2 夢の実現に向かって挑戦し、努力を続けようとする生徒 3 自らを律し、多様な人々と協働しようとする生徒

令和8年度（2026年度）札幌市立高等学校推薦入学選抜実施校における
「入学者の受入れに関する方針等」一覧表

通学 区域	学校名	学科名 (コース名)	推薦枠	入学者の受入れに関する方針等	面接・自己推薦書の提出 以外に実施する項目
札幌市 内 全 域	市立 札幌旭丘	普通科	20%	単位制の趣旨を理解し、本校で学ぼうとする確かな理由を有し、次の要件を全て満たす生徒 1 知的好奇心にあふれ、本校での学校生活全般に高い意欲を有する生徒 2 社会性や責任感を伴った、積極的・主体的な行動力を身に付けることを目指す生徒 3 豊かな発想力をもち、高校で身に付けた資質・能力を活かして、社会・世界で活躍することを目指す生徒	○適性検査 (大問2問、筆記、45分)
		数理データサイエンス科	30%	数理データサイエンス科の理念を理解し、本校で学ぼうとする確かな理由を有し、次の要件を全て満たす生徒 1 知的好奇心にあふれ、科学への関心が高く、将来にわたり探究し続けることを目指す生徒 2 理数分野を中心とした幅広い教養と情報活用能力を身に付け、札幌や世界の諸課題に取り組もうとする生徒 3 未知の分野に果敢に挑戦する気概をもち、仲間とともに未来志向の議論や発信をする意欲を有する生徒	○適性検査 (大問2問、筆記、45分)
	市立 札幌藻岩	普通科	30%	興味・関心や進路希望に応じた科目選択が可能な単位制の趣旨を生かし、次のいずれかを意識して学ぶことが期待できる生徒 1 主体的に学び続ける意欲があり、未来を描いて自ら行動する生徒 2 何事に対しても柔軟な発想で取り組み、仲間と協働して創意工夫する生徒 3 困難に挑戦するたくましさを持ち、リーダーとして活躍する生徒	○作文 (400字程度、30分)
	市立 札幌平岸	普通科 (普通)	10%	次の要件を全て満たす生徒 1 気力を充実させ、知を求め美を愛し、生きる喜びを実現するとともに自分らしさと教養、生きる力を身に付けることができる生徒 2 知性や感性そして貢献、発信力とコミュニケーションに興味を抱き、積極性をもって本校の教育活動に参加することができる生徒 3 全ての教育活動において、6C※を理解しながら行動するとともに、それを自ら発信・表現し、意欲的に取り組むことができる生徒 4 困難に直面しても、他者と協働して課題に取り組み、解決に当たろうとする粘り強く取り組むことができる生徒	○作文 (400字、40分)
		普通科 (デザインアート)	50%	次の要件を全て満たす生徒 1 気力を充実させ、知を求め美を愛し、生きる喜びを実現するとともに自分らしさと教養、生きる力を身に付けることができる生徒 2 知性や感性そして貢献、発信力とコミュニケーションに興味を抱き、積極性をもって本校の教育活動に参加することができる生徒 3 全ての教育活動において、6C※を理解しながら行動するとともに、それを自ら発信・表現し、意欲的に取り組むことができる生徒 4 困難に直面しても、他者と協働して課題に取り組み、解決に当たろうとする粘り強く取り組むことができる生徒 5 美術やデザインに強い興味・関心があり、またその分野の適性・能力が高い生徒 ※6C Communication (コミュニケーション)、Collaboration (協働)、Creativity (創造性)、Critical Thinking (批判的思考)、Computational Thinking (計算論的思考)、Citizenship (市民として自覚ある行動)	○実技 (鉛筆デザイン、B4画用紙、90分)

通学 区域	学校名	学科名 (コース名)	推薦枠	入学者の受入れに関する方針等	面接・自己推薦書の提出 以外に実施する項目
札 幌 市 内 全 域	市 立 札幌清田	普通科 (普通)	20%	単位制普通コースの趣旨を理解し、次のいずれかに該当する生徒 1 将来の進路に関する目的意識が明確で、その達成に向けて努力を惜しまない生徒 2 部活動など様々な分野で活躍し、入学後も引き続き意欲をもって継続できる生徒 3 広く世界に関心をもち、グローバルな視点で活躍することを目指す生徒	○英語の聞き取りテスト (15分)
		普通科 (グローバル)	50%	単位制グローバルコースの趣旨を理解し、次の1, 2の両方を満たし、かつ3, 4のいずれかに該当する生徒 1 広く世界に関心をもち、グローバルな視点で活躍することを目指す生徒 2 日本語でも英語でも、自ら考え、自分の言葉で発信する意欲がある生徒 3 将来の進路に関する目的意識が明確で、その達成に向けて努力を惜しまない生徒 4 様々な分野で活躍し、入学後も引き続き意欲をもって継続できる生徒	○英語の聞き取りテスト (15分) ○英語による問答 (面接時に個人で実施)
	市 立 札幌新川	普通科	20%	次の三つの要件を全て満たす生徒 1 「開拓者たれ」の校訓のもと新川生としての誇りをもち、自己実現に向け、粘り強く努力する向上心がある生徒 2 学習や学校行事・生徒会活動・部活動等の特別活動に対し、主体的かつ協働的に取り組み、文武両道を実現する意欲のある生徒 3 自他に関心をもち、自己表現や他者理解をする中で、人間関係を構築できる生徒	なし
	市 立 札幌啓北 商業	未来商学科	50%	次のいずれかに該当する生徒 1 未来商学科のコースに興味・関心があり、進路実現に向けて意欲的に勉学に取り組む生徒 2 部活動や生徒会活動に取り組んでおり、学業との両立を図りながらそれらを継続する意志のある生徒	なし
北 海 道 内 全 域	市 立 札幌大通 (定時制)	普通科	午前部30名 午後部30名 夜間部50名	次の三つの要件を全て満たす人 1 学ぶ意欲にあふれる人 2 人とのコミュニケーションを大切にする人 3 仲間とともに積極的に学校づくりに参加できる人	○作文 (400～600字、50分)

令和8年度(2026年度)公立高等学校推薦入学者選抜実施校における

定時制課程の「入学者の受入れに関する方針等」一覧表

定時制課程の高等学校のうち、次の学校・学科で推薦入学者選抜を行います。

(北海道有朋高等学校、札幌市立高等学校、日高町立高等学校を除く)
※ 推薦入学者選抜における入学枠は、募集人員の30%程度の数とします。

各高等学校では、スクール・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針）を、それぞれの学校のウェブページ等で公表しています。

管内	学校名	学科名	入学者の受入れに関する方針
石狩	札幌東	普通	次の全てに該当する生徒 1 学ぶ意欲、姿勢を持ち、粘り強く学習に取り組む生徒 2 互いの立場を理解し認め合い、ともに向上しようとする生徒 3 特別活動や課外活動等に意欲的に挑戦できる生徒
	札幌西	普通	「夜間定時制高校」の特色を理解し、次のいずれかに該当する生徒 1 目標に向かって絶えず努力する生徒 2 自分で考え正しく判断し、進んで行動できる生徒 3 進路目標実現のための学力を身に付けようとする生徒
	札幌南	普通	次の全てに該当する生徒 1 学ぶ意欲を持ち、最後まで粘り強く学習に取り組もうとする人 2 思いやりの心を持ち、よりよい人間関係を構築しようとする人 3 規律と礼儀を守り、善悪のけじめがつけられる人
	札幌北	普通	次の両方に該当する生徒 1 多様性を尊重し、仲間を大切にできる生徒（寛容・良識） 2 学ぶ姿勢を持ち、未来を信じて挑戦できる生徒（進取）
	札幌月寒	普通	基本的な生活習慣が身に付いており、次の両方を満たす生徒 1 働きながら学ぶ意欲を持ち、部活動や生徒会活動に積極的に取り組む生徒 2 自らの興味・関心や進路目標を踏まえて、意欲的に学校生活を送ることができる生徒
	札幌琴似工業	工業 （電子機械） 工業 （電気）	基本的な生活習慣が身に付いており、次のいずれかに該当する生徒 1 高校で4年間じっくり基礎から学びたい人 2 ものづくりに興味がある人
後志	小樽潮陵	普通	次のいずれかに該当する生徒 1 義務教育段階の学び直しを含め基礎学力を身に付けたい生徒 2 毎日の学びを通して高校を卒業したいという意志を持った生徒 3 学業の必要性を感じ再挑戦しようとする生徒 4 自分の夢や将来の希望を持ち、その実現に向けて継続的に努力する生徒 5 学校行事や生徒会活動等を大切にし、学校生活に意欲的に取り組む生徒
胆振	室蘭栄	普通	次の全ての項目に該当すること 1 高校生活に目標を持ち、自ら学ぼうとする生徒 2 学校行事等に積極的に参加し、自らを向上させようとする生徒 3 基本的な生活習慣を整え、規則正しい生活を送ろうとする生徒
渡島	函館中部	普通	次のいずれかに該当する生徒 1 学習と仕事を両立させ、充実した学校生活を送る意欲のある生徒 2 基本的な生活習慣を身に付け、規律ある学校生活を送る意欲のある生徒 3 自他を大切にし、部活動や生徒会活動等に積極的に取り組み、他者と協働して社会に貢献しようとする意欲のある生徒
	函館工業	工業 （電子機械）	次の全てに該当する生徒 1 積極的に社会参加をしながら、意欲的にものづくりを学び続ける生徒 2 自他の生命を尊重し、協調性に溢れる生徒 3 特別活動や課外活動に意欲的に取り組む生徒

14. 入学願書の注意点

- ・ウェブ申請要領は、出願手順マニュアルを参照すること。不明な点は中学校に問い合わせずに、教育委員会や出願先高校に直接確認すること。
- ・署名欄は、該当する人が記入すること。
- ・訂正する場合は、要領に従い正しく処理すること。修正テープなどは絶対に使用しないこと。
- ・現住所は、アパート・マンション名、部屋番号等を詳細に入力する。

1 公立高校の場合

1. 入学願書について（令和8年1月14日(水)に提出）
 - ウェブ申請手続きは、生徒または保護者だけで行わず、両者が揃った状況で行うこと。
 - 各教育委員会ホームページまたは出願先高等学校のホームページを経由して必要事項を入力・申請すること。
 - 必要事項入力・申請後の入学願書を印刷して、中学校へ提出。（写真は中学校で貼付）
 - 保護者等署名の欄があるので、保護者が必ず署名すること。生徒署名の欄は、生徒自身で署名すること。両方の署名の筆跡が同じ場合は、願書を受け付けてもらえない。

【要注意】道立高校のシステムでは、データ入力後、一時保存した状態で「入力内容を出力する」で出力したデータを印刷し、中学校の点検を受けます。必ず中学校の点検で誤りがないことを確認してから入力データを出願先高校に送信します。一度送信すると、その内容を取り消すことができません。詳しくはマニュアルを確認してください
2. 入学検定料について（令和8年1月15日(木)に提出）
 - ① 道立高校の場合、北海道収入証紙を入学願書に貼り付けることになる。冬休み中に銀行で購入する。（北洋銀行全店、一部の北海道銀行などで取り扱っている・・・[資料ページ](#)参照）
※「収入印紙」と間違わないようにしてください。
→間違っても購入してしまっても、現金とは交換できない。
 - ② 市立高校（入学手数料）の場合、「受付システム」内でクレジットカード決済することが可能。
「受付システム」内でクレジットカード決済しない場合は、専用の「納入通知書・領収書」により金融機関において納入し、領収日付印が押印された「納入通知書・領収書（納入控・出願書類貼付用）」を入学願書に貼り付けることになる。冬休み中に金融機関で納入すること。
 - ③ 金額は道立・市立ともに、全日制の課程 2,200 円、定時制の課程 950 円。
3. 訂正印について
 - 入学願書のウェブ申請の場合、基本的には訂正したときに使用する訂正印は不要。必要な場合は個別に伝えるので、勝手に押すことのないように注意すること。

2 私立高校の場合

1. ウェブ出願について
 - ① 高等学校ごと入力方法が異なる。
 - ② 各高等学校のホームページの出願サイトへ必要事項を入力する。
※写真は中学校で貼付するので、データのアップロードは基本的には不要。ただし、一部データのアップロードが必要な高校があるので、個別に指示がある。

- ③ 受験料の支払い前に「申込内容確認書」で入力内容に間違いがないか確認する。
- ④ 受験料をオンライン決済またはコンビニ支払が終わった時点でウェブ受付が終了。
※入力内容の訂正→受験生・保護者が高校へ連絡。
入学願書は朱書き訂正。(状況によって新たに印刷しても良い)
- ⑤ 家庭で「入学願書」「受験票」を印刷し、中学校へ提出。 (「中学校の提出締切」を厳守)
- ⑥ 中学校で「入学願書」に写真を貼付し、中学校から高校へ提出。

2. 入学願書について

- ① 家庭で「入学願書」「受験票」を印刷し、中学校へ提出。
プリンターがない場合は、コンビニエンスストア等で印刷
提出日は、1月受験の願書は令和7年12月19日(金)まで。2月受験の願書は令和8年1月20日(火)まで。「中学校の提出締切日」を厳守してください。
- ② 中学校で「入学願書」に写真を貼付し、中学校から高校へ提出

3. 訂正印について

- 入学願書のウェブ申請の場合、基本的には訂正したときに使用する訂正印は不要。必要な場合は個別に伝えるので、勝手に押すことのないように注意すること。

3 願書用証明写真撮影について (サイズ5cm×7cm)

- 日時 令和7年11月12日(水) 5・6校時
- ◎撮影の前日までに、標準服、頭髪等を整え、しっかり準備をすること。
この写真は願書(受験票)に貼付し、受験生の「第一印象」になる。

**【具体的には…】 証明写真は、どのような人物が確かめることが目的です！
部分的にも顔を絶対に隠してはいけません。**

- ・頭髪がきちんと整っていること (整髪料は不可)。
- ・髪が長い女子は束ねること (お団子ヘアは上部が欠けるので禁止)。
- ・耳や顔の輪郭が隠れないこと (髪で顔が隠れる場合は、耳にかけること)。
- ・まゆ毛が見えること (まゆ毛が隠れる前髪は事前に切っておく。前髪を束ねるのは不可)。
- ・ネクタイ、名札 (色ピン×)、ボタンがきちんと付いていること。胸ポケットには何も入れない。
- ・試験時に眼鏡をかける人は、眼鏡をかけて写すこと。

※道立高校や私立高校・高専では、入学願書(写真台紙)に添付する証明写真をウェブ申請時にアップロードすることが可能ですが、本校では従来通りに中学校で撮影した証明写真を入学願書(写真台紙)に貼付して高校に提出します。ウェブ申請時にデータをアップロードしないようご注意ください。

15. 入試当日の遅刻や欠席について

基本的に以下のような場合は、保護者→中学校→出願先高校の流れとなります。ただし、私立高校の推薦・単願や高専の受験日など、土日が入試当日の場合は、中学校を通さずに生徒や保護者から直接高校に連絡して対応してもらいます。

1 遅刻するとき

集合時間に遅れても受験することはできますが、遅れた分、試験時間を延長するなどの措置はありません。なお、天候などにより公共の交通機関(自家用車は含まれない)が乱れ、集合時間に間に合わないときは、本人が直接中学校(土日の場合は高校)に連絡してください。

2 事前に欠席がわかっている場合

私立高校や高専等に合格し、公立高校を受検しない場合など。欠席する場合は出願先の高校へ中学校から連絡しますので早めに申し出てください。

3 当日具合が悪く特別の配慮を必要とするとき

【公立】

高熱を出した場合、インフルエンザや新型コロナウイルスなどの疾患が疑われる場合など。別室受験や追検査など高校側がどのような対応をするか確認します。

追検査 学校保健安全法第 19 条で出席停止の扱いが定められている感染症により、本検査を受検できない場合

○本検査を受検できない状況が認められた場合、保護者より中学校へ連絡

本検査を受検できない状況を確認し、中学校より出願先高校へ連絡

3月5日(木)16:00 までに追検査受検願を高校へ提出→追検査受検承認書を高校より交付

○検査期日 令和8年3月 11 日(水)

○面接 全日制 令和8年3月 11 日(水)か、12 日(木)又は 13 日(金)

定時制 令和8年3月 11 日(水)

○合格発表 令和8年3月 17 日(火)10:00

【私立】 ※私立高校は、集合時間(試験・面接)が異なりますので、受験票などで確認してください。

公立高校と同様な対応がなされますが、追試験の日程など各高校によって異なります。万一の時は、必ず中学校へ連絡してください。中学校の教頭から高校へ事情を説明し、追試験等の指示を受け、家庭に連絡します。

4 当日受検(受験)票を忘れた場合

生徒手帳などで本人であることを証明できれば、受験できます。家に戻ったり、保護者に連絡したりするのではなく、試験会場に着いたら高校の先生に申し出て、指示を受けてください。

16. 10月～3月までの主な進路日程

＜10月＞

日(曜日)	行事・取組	説明
27日(月)～30日(木)	推薦(自己推薦)申し出期間	担任に申出→「推薦(自己推薦)申出書」を配付
31日(金)	2学期定期テスト	2学期の評定に関わる大切なテスト

＜11月＞

日(曜日)	行事・取組	説明
4日(火)	推薦(自己推薦)申出書提出締切	朝学活までに提出。期日厳守！
6日(木)	学力テスト総合C	当日点を予想する最後の学力テスト
	第5回進路希望調査配付	最後の調査。この希望をもとに期末懇談の準備
10日(月)12日(水)	得点通知表配付	2学期定期テスト・学力テスト総合Cの結果を配付
12日(水)	願書用証明写真撮影	願書に貼る写真を中学校で一括して撮影
13日(木)	第5回進路希望調査提出締切	期日厳守！
18日(火)	推薦依頼書・自己推薦書提出締切	朝学活までに提出。期日厳守！
20日(木)	学年推薦委員会	推薦希望者の選考、自己推薦書の内容確認
28日(金)	面接指導	面接の仕方・ポイントを学習
	校内推薦委員会	推薦希望者の選考

＜12月＞

日(曜日)	行事・取組	説明
5日(金)～1/22(木)	公立高校入学願書オンライン入力受付	教育委員会の手続きマニュアル完成後、詳細を連絡
10日(水)～	出願手続依頼書配付	文章による正式な出願手続の依頼となる書類配付
11日(木)	学期末懇談①	三者で希望進路の最終確認(事前にご家庭での十分な話し合いを) 期末懇談の次の登校日に 出願手続依頼書を提出 自己推薦出願者は 期末懇談の場で自己推薦書を提出
12日(金)	学期末懇談②	
15日(月)	学期末懇談③	
16日(火)	学期末懇談④	
17日(水)	学期末懇談⑤	
学期末懇談にて	私立(推単専)&高専(推)募集要項等配付	私立推薦・単願・専願と高専の推薦希望者に募集要項等を配付。ウェブ出願手続を行う。
学期末懇談期間中	学校推薦校長面接	学校推薦希望者の校長面接→推薦可否の通知
18日(木)	「出願手続依頼書」最終締切日	期日厳守！ 学校名等は正式名称で記入
19日(金)	私立(推単専)&高専(推)願書提出締切	正確に入力し受験料を納めて提出。期日厳守！

※冬休み中に、公立高校の入学検定料の支払いをすること。

- ・道立高校は、「北海道収入証紙」を購入して始業式に提出する。
- ・市立高校は、クレジットカード決済しない場合は、入学手数料を指定用紙で指定された金融機関で振り込みをし、「納付書・領収書」を始業式に提出する。

※【要注意】道立高校のシステムでは、実際の出願時は一時保存した状態で「入力内容を出力する」で出力したデータを印刷し、中学校の点検を受けます。必ず中学校の点検で誤りがないことを確認してから入力データを送信します。一度送信すると、その内容を取り消すことができません。詳しくはマニュアルを確認してください。

《1月》

日(曜日)	行事・取組	説明
14日(水)	公立高校願書回収	正確に入力した願書を10:00または13:00に提出 ※収入証書 or 納付書・領収書は翌日でもよい
15日(木) 3学期始業式	公立高校受検者は 収入証書 or 納付書・領収書を提出	中学校で願書に「北海道収入証紙」or「納付書・領収書」と写真を貼付
	私立高校・高専募集要項等配付	締切期日前日までに受験料を支払う
	学年末テスト①	学年末の評定に関わる大事なテスト
16日(金)	学年末テスト②	学年末の評定に関わる大事なテスト
16日(金)～	私立高校推薦・単願・専願受験	受験日・合格発表日も学校ごとに異なる。入学手続き日も学校ごとに違うので、よく確認をして手続きに遅れないように
20日(火)	私立高校・高専願書提出締切	期日厳守!
26日(月)	出願状況発表	ウェブにて10:00に発表
27日(火)～2/2(月)	出願変更手続き	一度に限り変更可能 2/2(月)16:00までに手続き終了させる。
29日(木)	出願変更中間出願状況発表	16:30各学校で発表。当日中にウェブ発表

《2月》

日(曜日)	行事・取組	説明
8日(日)	高等専門学校受検日	4高専で受検実施
10日(火)	公立高校推薦受検日	面接検査や作文・実技、適性検査等が実施
12日(木)	出願変更後の出願状況発表	ウェブにて10:00に発表
	私立高校受験に向けて	私立高校受験に向けての最終確認
13日(金)14日(土)	私立高校A日程入試	12日(木)に下見
17日(火)18日(水)	私立高校B日程入試	16日(月)に下見
～18日(水)	公立推薦合格内定通知	この日までに「合格内定通知」が中学校に届く
19日(木)～24日(火)	「入学確約書」or「再出願願」受付	16:00までに、中学校を通して出願先高校に提出
27日(金)	「入学意思確認書」配付	高校への入学意思の有無を意思表示する書類

＜ 3 月 ＞

日（曜日）	行事・取組	説明
2日(月)	再出願後の出願状況発表	ウェブにて 11:00 に発表
3日(火)	公立高校受験に向けて	公立高校受験に向けての最終確認
4日(水) 5日(木)	公立高校一般受験日	学力検査、面接検査や作文・実技等が実施
9日(月)	「入学意思確認書」提出締切	期日厳守！
11日(水)	公立高校追検査	
	「最終進学先確認書」配付	公立高校受験者に配付
13日(金)	卒業証書授与式	
17日(火)	公立高校合格発表	各高校 HP より 10:00 に発表
	「最終進学先確認書」提出	公立高校合格者全員 12:00～12:15 に登校提出 公立高校不合格者全員 14:30～14:40 に登校提出
10日(火)～18日(水)	有朋高校単位制出願受付	18日(水)は 15:00 まで受付
2/13 (金)～18日(水)	有朋高校通信制出願受付	18日(木)は 15:00 まで受付
18日(水)～26日(木)	学力検査の得点の口頭による開示	本人が受験票と身分証明書（生徒手帳等）持参で出願した高校の事務室へ
18日(水)	公立高校追加合格発表	9:30 から 16:30 まで追加合格者を発表
19日(木)	公立高校 2 次募集人員の発表	9:00 に各学校で掲示。当日中にウェブでも発表
23日(月)～24日(火)	公立高校 2 次募集出願受付	新たに願書（手書きで作成）や受験料、写真が必要
24日(火)	有朋高校入学者選抜	作文と面接を実施
～27日(金)	公立高校 2 次募集合格発表	この日までに合格者に通知
30日(月)	有朋高校単位制・通信制合格発表	有朋単位制・有朋高校 HP より 10:00 に発表 有朋通信制・本人に通知



受験期の健康管理

手稲東中学校 保健室

* 2学期に入り、表現力開発学習の発表（学校祭）に向けての準備、そして当日は素晴らしいパフォーマンスを見せてくれた3年生。この3年間の成長を感じた時間でした。そんな時でも特に用事もないのに保健室に入ってきたりのぞいたり。進路のことを聞くと、「う〜ん、まだ決まってない…」とか「〇〇高校に行きたいけど…」など、迷っている生徒もいました。

* 受験を控えた子どもは不安やイライラを抱えていることも多く、保護者として「どのように接すればいいか」と、接し方で悩む保護者の方も多いかもしれません。でも一つ確かなことは、**家が「ほっとする」場であることが、子どもたちの心の安定につながっていく**ということです。

* これからの5か月間、子どもたちにはしっかり自分の将来を見つめて受験と向き合ってほしいと願っています。

★「受験」も「心の安定」も睡眠から

* **睡眠時間は、トータルの睡眠時間数ではなく、就寝時間に意味があります。**中学生に必要な睡眠時間は**7〜8時間**、そして**脳が機能を発揮し始めるのは起床してから2〜3時間後**…。**何時に起き、何時に食事をするのか**子どもたち自身に気づかせるように、まずは大人のサポートが必要です。

* 朝食は、**体と心と脳を整えるため**にも、是非食べさせてください。ときに、食べたくない日もあるかもしれませんが、そんなときには**「好きなもの」「食べられるもの」で気持ちを落ち着かせてあげてください。**

スマホの普及により、確実に睡眠時間が減っています。本校の昨年の**保健室に来室する生徒の約56%は吐き気、肩こりを伴った頭痛**。その理由は…**スマホやケータイの依存、長時間使用、またその使用による寝不足、友人間のトラブル**です。勉強を頑張っている生徒に聞くと、**勉強時間は、自分のそばからケータイ・スマホは離し、居間などに置いておく**と言っています。



* 現代の日本は、良質な睡眠がとりにくい生活環境にあります。スマホや携帯などの個人情報端末の発達や、深夜まで明るい照明環境が、睡眠に悪影響を及ぼしているからです。**睡眠不足が続くと免疫力が下がるとか、脳への記憶の定着が起きにくくなる**などよく聞きます。他にも、睡眠には体温を下げる機能があるので、睡眠不足によって体温が下がらないと、脳も休息できずにオーバーヒート状態になります。**脳は、恐怖や不安といった負の感情に関わっている**ので、睡眠により脳を休息させることによって、**こうした負の感情を軽減させることができます**。昼間いやなことがあっても、一晩寝れば、いやな出来事自体は覚えていても、いやな感情は弱まったり消失するということは、このメカニズムによって起きています。しかし十分な睡眠がとれないと、いやな感情は次の日も持続します。**睡眠は、心の修復**にも一役買っているのです。

* また、「家に帰って昼寝をしたから、夜眠れなくて寝不足」という話をよく聞きます。『仮眠は20分前後で十分』といわれていますが、子どもたちの話を聞くと、下校後2,3時間寝ていて、夜中に起きている様子がうかがえます。

仮眠時間	眠気の解消	作業能力の向上	夜の睡眠に影響しない
1〜5分	○	△	○
6〜15分	○	○	○
16〜30分	○	○	○
31分〜	○	○	×

これが最適解

★集中できる環境を用意して、ときには息抜きをすすめる

* たとえば**子どもが勉強しているときにはテレビなどを消して静かにする、家族もスマホを触らない、勉強する場所や部屋は常に整理整頓しておく**などすれば、子どもも集中して勉強しやすくなります。また、夜遅くまで勉強していて生活リズムが崩れてきているようなら**一言声をかける、長時間食事もとらず勉強しているなら休憩をすすめる**、といったことで**子どもの心身のバランスを取ってあげる**ことも重要です。ただし親のサポートは必要ですが、干渉しすぎることは良くありません。適切なバランスを保つために、**保護者は一歩引いて子どもを見守る**ことが重要です。



★かぜの予防

*最近、季節によっておこる感染症の流行というよりは、一年を通じて新型コロナウイルス感染症を始め、**マイコプラズマ肺炎、百日咳**、などいろいろな感染症が出ているようです。そして今後、インフルエンザの流行も予想されます。

急激な気温の低下、空気の乾燥で、体調を崩しやすいこの季節。かぜを引かないようにすることはもちろんですが、**引いてしまったら、無理をしないで安静にしてゆっくり休養を!**

欠席日数が気になる時期ですが、かぜは治るまでに、引いていく日数の倍の日数がかかると言われています。インフルエンザについては、出席停止で欠席にはなりません。早めの手当てをすることで、長引かずに済みますので、よろしくお願いします。

***感染症の一番の予防には「うがい・手洗い」「マスク」**です。そして、必要のない外出、密になるような場所への外出はなるべく控えるようにさせていただきたいと思ひます。



～服装のチェックをお願いします～

*ジャージ登校から標準服の登校になりました。実際、冬はジャージよりも標準服のほうが温かいです。体育の授業がある日はジャージ登校ですが、上着の中には半袖のTシャツ1枚なので、体が冷えて腹痛を訴えて来室する生徒も少なくありません。また女子はスカートの生徒がほとんどですが、スニーカーソックスで素足の生徒がたくさんいます。**寒さで肌が赤紫になっている生徒もいます。タイツをはくなど防寒対策をお願いします。**また、**男女ともYシャツの中に1枚下着やTシャツを着せていただく**といいと思ひます。動きにくいと**フリースを着てこない**生徒もいますが、寒い時にはおるためにも、**保健室では「登校時には着て来て、暑ければ脱ぐと」**お話していますが、ご家庭でもご指導をお願いします。

★ ストレス解消も大切～心の安定のために

***ストレスは誰にもあるもの**です。ある程度のストレスがあるため、集中して勉強に打ち込むことができるともいえます。**ストレスを敵視するより、ストレスを自分なりにコントロールできるようになるといいと思ひます。**「頑張る」ことはつらいことが多いものです。しかし頑張ったときの**達成感、成就感**をたくさん感じることで、子どもの成長に大きく影響すると言われています。



*12月に、スクールカウンセラーによる『ストレスなんてこわくない』という講演会を行います。受験前の不安な3年生へエールも込めて企画しました。最近の子どもは、すぐに「ストレスだから」と口にします。確かに人間関係や勉強など、大人と同じようにストレスを感じていることは確かです。ですが、**これから守られてきた小中学校から、一歩ずつ外に向かっていく子どもたちには、その「ストレス」と上手に付き合う方法を見つけてほしいと思ひます。**

*ほとんどの生徒が初めて経験する受験という時期を、「普通」を心がけながら**ご家族での時間を過ごすこと、家が「ほっとする」場であることが、子どもたちの心の安定につながっていく**のではないのでしょうか。勉強をしなければならないことは、子どもたちが一番知っています。ですから、**ご家庭では、「見守る」「寄り添う」「話を聞く」、そして時には一緒にストレス発散をするのも、コミュニケーションをとるためにもいいかもしれません。****子どもの話を聞き、不安な気持ちをしっかりと受け止めてあげるだけで、子どもは気持ちの整理がついて、スッキリするとともに安心感をもつ**ことができます

*保健室からも、子どもたちを支えていきたいと思ひています。何かご心配なことや学校で知っていた方がよいことなどありましたら、ご連絡いただければありがたいです。



公立高等学校を受検する生徒・保護者の皆さんへ

～特別な配慮を必要とする生徒の出願について～

入学者選抜における学力検査や入学後の学校生活等について、生徒や保護者が特別な配慮を希望する場合の対応や流れなどは、次のようになっています。

◎ 出願前に行くこと（流れ）

- ① 生徒・保護者から中学校へ相談
 - ・在籍している中学校の先生に学力検査や面接、入学後の学校生活において必要とする特別な配慮について相談します。
- ② 中学校から高等学校へ相談
 - ・中学校は、生徒・保護者から相談のあった特別な配慮の内容や中学校で配慮している事項をまとめ、生徒が出願しようとしている高等学校に相談し、関係文書を送付します。
- ③ シミュレーション等の実施
 - ・特別な配慮の内容や実施方法が適切であり、実施に当たって支障等が生じないよう、高等学校と中学校が詳細を確認します。
 - ・また、生徒・保護者、中学校及び高等学校の関係者等が一堂に会し、要望の内容について確認したり、シミュレーションを実施したりします。
- ④ 高等学校と教育委員会との協議
 - ・高等学校と教育委員会が特別な配慮について協議し、内容や実施方法等を確定します。
- ⑤ 高等学校から中学校へ、中学校から保護者へ回答
 - ・高等学校から中学校へ、中学校から保護者へ特別な配慮の内容について伝えます。

※ 出願の際、入学願書の「入学者選抜における特別な配慮の希望の有無」の欄の「有」を選択してください。



◎ 学力検査等においてこれまで実施した特別な配慮の例

受検者の状況等	特別な配慮の内容
聴覚に障がいのある場合	・監督者の指示や英語の聞き取りテストが聞き取りやすいような座席の配置 ・補聴器の使用 など
視覚に障がいのある場合	・拡大鏡の使用 ・問題用紙の拡大 など
肢体不自由の場合	・車いすの使用 など

糖尿病の場合	・室外での補食 ・保健室でのインスリンの注射 など
入院している場合	・入院先の病院での受検 など
日本語指導が必要な場合	・問題用紙等へのルビ振り など
その他	・通常の検査室で受検することが困難な受検者に対する別室での受検 ・面接における話し方の配慮(できるだけゆっくり話す等) ・筆談による応対 ・当該生徒及び保護者の要望により特別な配慮が必要と考えられるもの など

◎ 特別な配慮に関するQ&A

- Q 1 特別な配慮を要望すると可否に影響を与えますか。
- A 1 入学者の選抜は、実施要項で示された資料（個人調査書、学力検査の成績、面接の結果等）を総合的に評価して行いますので、特別な配慮が可否に影響を与えることはありません。
- Q 2 特別な配慮について、いつまでに中学校へ相談すればよいですか。
- A 2 出願しようとする高等学校が未定の場合であっても、公立高等学校へ出願しようとする場合は、できる限り早く相談してください。可能な限り出願の受付前に協議を終えることができるようお願いします。
- Q 3 出願後に怪我等により特別な配慮が必要となった場合、特別な配慮をしてもらえますか。
- A 3 怪我等により通常の受検が困難になった場合、速やかに中学校に相談してください。在籍中学校長が出願先の高等学校長に事情を説明し、当該高等学校長は、教育委員会と特別な配慮について協議します。
- Q 4 学力検査当日に急な体調不良等により特別な配慮が必要となった場合、別室受検等の特別な配慮はしてもらえますか。
- A 4 学力検査当日の急な体調不良等により通常の受検が困難になった場合、速やかに中学校又は出願先の高等学校に相談してください。状況に応じて特別検査室等で受検することは可能です。また、インフルエンザ等の感染症の罹患者のほか、月経随伴症状等、本人に帰責されない身体・健康上のやむを得ない理由等により本検査を受検できない場合は追検査の対象となりますので、中学校に相談してください。なお、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象となりません。

◎ 相談窓口

- 次のいずれかに相談してください。
- ・出願先の高等学校
 - ・札幌市教育委員会学校教育課程担当課
電話 (011) 211-3891
 - ・札幌市教育委員会学校教育部学びの支援担当課
電話 (011) 211-3821
<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/school/senbatu/index.html>

資料2 「出願手続依頼書」の扱いについて

この書類をもとに出願手続を進めていきます。出願ミスを起こさないための大切な書類です。書類提出後に記載内容に変更が生じた場合は、必ず「出願手続依頼書」の内容を訂正又は新しく作成し、再提出していただきます。出来るだけそのような状況にならないよう、あらかじめ保護者・生徒本人の意思の統一と担任との相談を十分をお願いします。

令和 年 月 日																					
札幌市立手稲東中学校 校長 安藤 昌美 様																					
出願手続依頼書																					
3年 組 番	生徒署名 _____ 保護者署名 _____																				
下記の学校に出願することになりましたので、入学願書の取り寄せ等の出願手続きをしてくださるようお願いいたします。なお、中学校に相談・連絡せずに記入した内容から変更しないことを約束します。																					
1 公立高等学校																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">高等学校</td> <td style="text-align: center;">全日制 定時制</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> ☒ 印一 (口自己推薦・口一般) </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第1志望</td> <td style="text-align: center;">第2志望</td> <td style="text-align: center;">第3志望</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">科</td> <td style="text-align: center;">科</td> <td style="text-align: center;">科</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">コース・部</td> <td style="text-align: center;">コース・部</td> <td style="text-align: center;">コース・部</td> </tr> </table> ・2つ以上学科がある高等学校で、第2第3志望がない場合は右下がりの斜線を引くこと。 (ただし、自己推薦出願の場合は、第2志望までしか記入できません。)		高等学校		全日制 定時制	☒ 印一 (口自己推薦・口一般)			第1志望	第2志望	第3志望	科	科	科	コース・部	コース・部	コース・部					
高等学校		全日制 定時制																			
☒ 印一 (口自己推薦・口一般)																					
第1志望	第2志望	第3志望																			
科	科	科																			
コース・部	コース・部	コース・部																			
2 私立高等学校(A日程、B日程の両方を受験する場合、2校とも記入すること)																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">A日程</td> <td style="width: 30%;">高等学校</td> <td style="width: 20%;">科</td> <td style="width: 20%;">コース クラス</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> ☒ 印一 (口1月受験 口2月受験) </td> </tr> <tr> <td>B日程</td> <td>高等学校</td> <td>科</td> <td>コース クラス</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> ☒ 印一 (口1月受験 口2月受験) </td> </tr> <tr> <td>通信制</td> <td>高等学校</td> <td>科</td> <td>コース クラス</td> </tr> </table> ・希望がない場合は右下がりの斜線を引くこと。 ・「1月受験」と「2月受験」では、手続期間が異なります。十分にご確認ください。		A日程	高等学校	科	コース クラス	☒ 印一 (口1月受験 口2月受験)				B日程	高等学校	科	コース クラス	☒ 印一 (口1月受験 口2月受験)				通信制	高等学校	科	コース クラス
A日程	高等学校	科	コース クラス																		
☒ 印一 (口1月受験 口2月受験)																					
B日程	高等学校	科	コース クラス																		
☒ 印一 (口1月受験 口2月受験)																					
通信制	高等学校	科	コース クラス																		
3 高等専門学校																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">高等専門学校</td> <td style="width: 20%;">学科</td> </tr> </table> ・希望がない場合は右下がりを斜線を引くこと。		高等専門学校	学科																		
高等専門学校	学科																				
4 専修学校・各種学校・その他																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="height: 30px;"></td> </tr> </table> ・希望がない場合は右下がりを斜線を引くこと。																					
5 上記以外の出願希望がある場合																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="height: 30px;"></td> </tr> </table> ・希望がない場合は右下がりを斜線を引くこと。																					
③ 尚未開校時または翌日に学級担任へ提出してください。最終締切は12月18日(木)です。 ④ 提出後に変更する場合は、この出願手続き依頼書を訂正するか新しく作成していただきます。																					

資料3 「入学意思確認書」の扱いについて

- 「入学意思確認書」は、複数の学校に合格した場合、どの学校に手続きをするかを確認するものです。この確認書をもとに、中学校は高校に「入学意思のない者」を報告することになっています。
- 「私立高校に入学します」と記載されていた場合、急に気持ちが変わって公立高校へ手続きしようとしても、すでに「入学意思のない者」として報告してあるため、欠員と見なされ、すでに他の人へ追加合格が行われているため、受け付けてもらえません。
- 逆に「公立高校に入学します」という意思表示をしていたにもかかわらず私立高校に入学してしまった場合、追加合格の数に狂いが生じ、公立高校側に多大な迷惑を掛け、また追加合格できていたはずの生徒の人生を左右しかねない重大な問題が生じます。
- 保護者の責任において、「入学意思確認書」が正確に記入されていることを確認し、内容通りの手続きを行ってください。

入 学 意 思 確 認 書				
札幌市立手稲東中学校 校長 安藤 直美 様		令和 年 月 日		
		3年 組 番 生徒氏名		
		保護者氏名		
私は、保護者との十分な話し合いの結果、進学先を以下のように決定しましたので、ご報告いたします。 また、この通りの学校で入学手続きを行うことを固く約束いたします。 (1) 入学意思の確認（該当するものいずれかひとつにチェックをしてください。） ※公立高校の推薦入学者選抜における合格内定者は、正式な合格発表は3/17ですが、1を選択してください。 ☐ 1 すべての合格発表が終了しています。下の(2)の第1志望の欄に記入した学校に進学します。 ☐ 2 合格発表がまだの学校があります。現時点では下の(2)の欄の希望順での進学を考えています。 ☐ 3 現時点での希望を下の(3)の欄に記入します。 ※上記1、2のどちらにもあてはまらない場合、補足説明が必要な場合に使用してください。 なお、公立高校が不合格時に進学先が確保されていない場合は、必ず記入してください。 また、公立高校で第1志望以外の学科に合格した場合も、入学の意思を具体的に記入してください。				
(2) 進学希望先の確認				
第1志望	学校	全日制課程 定時制課程	科	コース
第2志望	学校	全日制課程 定時制課程	科	コース
(3) 進学先などの希望（第2次募集、有朋高校への出願など、詳細に記入してください）				
※公立高校で第1志望以外の学科に合格した場合にどうするかも、この欄に記入してください。				
※追加調査 卒業後、追加合格なども含め、緊急時に連絡が取れる連絡先を記入してください。				
本人	電話番号	備考		
保護者①()		自宅 携帯 職場		
保護者②()		自宅 携帯 職場		
※ 提出後に変更がある場合は、直ちに担任の先生に連絡をしてください。				
提出締切 3月9日(月)				

資料 4

「最終進学先確認書」の扱いについて

- 公立高校受検者は、必ず提出するものです。
- 公立高校合格者は、合格発表の3月17日(火) 12:00~12:15に本人が中学校に提出します。
- 公立高校不合格者は、合格発表の3月17日(火) 14:30~14:40に本人が中学校に提出します。

最終進学先確認書

(公立受検者全生徒が対象です)

令和 8 年 3 月 17 日

札幌市立手稲東中学校

校長 安藤 直美 様

3 年 組 番 生徒署名

保護者署名

私は、本日の公立高等学校の合格発表を受け、進学先を下のように入りましたのでご報告いたします。また、この通りに手続きを行うことを固く約束いたします。

(該当する番号の □ にチェックをし、必要事項を記入してください。)

□1 私は、高等学校
高等専門学校に進学します。

□←公立高校に合格したが入学を辞退して、上記の学校に進学する場合はチェックしてください

□←公立高校の追加合格がきても辞退して、上記の学校に進学する場合はチェックしてください

□2 私は、公立高校の高等学校の追加合格を待ちます。

ただし、追加合格がなかった場合は、高等学校に進学します。

□3 私の考えは上記1, 2に当てはまりません。次の通り説明します。

(〇〇高校の第2次募集に出願したいなど、状況や考えを詳しく記入してください。)

- ※ 公立高校合格者は(推薦での合格内定者を除く)は、3月17日(火)12:00~12:15に本人が必ず中学校に持参して提出すること。
- ※ 公立高校に不合格者は、3月17日(火)14:30~14:40に中学校に本人が必ず中学校に持参して提出すること。
- ※ どうしても都合がつかない場合は、必ず電話連絡をしてください。当日旅行等で不在となり電話連絡ができない場合は、事前に担任の先生まで電話連絡をしてください。

資料5 「推薦（自己推薦）申出書」の扱いについて

- 推薦もしくは自己推薦を考えている人は、担任から10/27(月)～10/30(木)の期間に「推薦（自己推薦）申出書」を受け取る。
- 11/4(火)が申出書の提出締切です。

札幌市立手稲東中学校
校長 安藤 直美 様

令和 年 月 日

推薦（自己推薦）申出書

3年 組 番 生徒署名

保護者署名

私は、下記推薦基準を理解した上で、以下の学校・学科への（☐学校推薦 ☐自己推薦）による出願を考えていますので、基準の合致等を含む学校推薦全般に関わって、学級担任及び学年・学校による相談活動を進めていただくことをお願いいたします。

希望する学校	学 校		
学科・コース	制課程	科	コース

《本校推薦（自己推薦）基準（要旨）》

- (1) 第1志望であり、合格したら必ず入学すること。
(ただし、札幌日本大学高等学校の自己推薦書はこの限りではない。)
- (2) 出願する動機・目的・理由が、明確で適切であり、適性・興味・関心及び学習意欲が充分にあること。
- (3) 出願先の高校が示した条件や基準を十分に満たしていると中学校の様々な場面で判断できるもの。
 - ① 公立高校において、「入学者の受入れに関する方針」、学科やコースへの適性を満たしていること。また、入学後もその高校の学習についていけるもの。
 - ② 私立高校においては、その学校の出願条件を満たすこと。
 - ③ 高等専門学校においては、各校が定めるアドミッション・ポリシーや成績などの基準を満たす生徒であること。
- (4) 出願先の高校に3年間（高専の場合は5年間）きちんと在学し、卒業することが確実であると見込まれるとともに、様々な活動場面で中心的な活躍が期待できること。
- (5) 3年間の中学校生活において、生活・行動面で問題がなく規範意識が充分と認められること。
- (6) 本人の希望と保護者の希望が一致しており、保護者からの依頼に基づくものであること。

***申出締切は、11月4日（火）ですが、早めに提出してください。**

推薦依頼書

令和 年 月 日

札幌市立手稲東中学校
校長 安藤 直美 様

3年 組 番 生徒署名

保護者署名

私は、下記の学校、学科・コースへの推薦入学を希望しておりますので、推薦していただけますようお願いいたします。

なお、推薦していただいた場合には、学校、先生方の期待に応え、私自身の希望や目的達成のために一生懸命努力することを強く約束いたします。

記

1. 推薦入学を希望する学校および学科・コース名

希望する学校	学 校		
学科・コース	制課程	科	コース

2. 志望の動機、将来の希望等および保護者の意向

・この学校、学科を志望した動機、理由	
・入学してからしてみたいこと、伸ばしたいこと	
・高校卒業後のこと (進路・将来の希望)	
・保護者の意向 (保護者の方が記入)	

別記様式1（日本産業規格A4縦型）

※受験番号

自己推薦書（全日制課程受検者用）

令和 年 月 日

北海道

高等学校長 様

在籍中学校名

出願者署名

私は、貴校の全日制の課程の

科へ、次の理由により自己推薦します。

1 入学を志望する理由や抱負について

（この学校に入学したい理由や入学してから自分がしたいと思うことなどについて、この学校のスクール・ポリシーを踏まえて記入してください。）

2 中学校の各教科（選択教科を含む。）や総合的な学習の時間における学習について

（中学校で学習したことについて、自分が特にアピールしたいことを具体的に記入してください。）

3 中学校在学中における学校内外の諸活動について

（中学校生活の中で、学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、ボランティア活動、取得した資格や検定結果、その他の活動等を通して学んだこと、自分が特にアピールしたいことなどを具体的に記入してください。）

（注）1 出願者が記入、作成してください。なお、「出願者署名」の欄以外についてはパソコンにより入力し、印刷してもよいですが、欄の大きさ等を変更しないでください。また、文字のフォントはMS明朝、大きさは10.5ポイントを基本としますが、大きさについては出願者の任意とします。

2 ※印の欄は記入しないでください。

資料 9

北海道収入証紙売りさばき所 札幌市西区

売りさばき人	売りさばき所	市町村名	住所	販売日	販売時間	休業日	電話番号
(株)北洋銀行	琴似中央支店	札幌市	西区琴似2条5丁目1番1号	月～金	9:00-15:00	土日祝及び 12月31日～ 1月3日	011-631-512 6
	山の手出張所	札幌市	西区琴似2条5丁目1番1号(琴似中央支店内)	月～金	9:00-15:00	土日祝及び 12月31日～ 1月3日	011-612-651 1
	西町支店	札幌市	西区西町南8丁目2番37号	月～金	9:00-15:00	土日祝及び 12月31日～ 1月3日	011-661-015 1
	西野二股支店	札幌市	西区西町南8丁目2番37号(西町支店内)	月～金	9:00-15:00	土日祝及び 12月31日～ 1月3日	011-665-204 1
	八軒支店	札幌市	西区八軒5条西1丁目1番60号	月～金	9:00-15:00	土日祝及び 12月31日～ 1月3日	011-641-311 1
	発寒支店	札幌市	西区発寒13条3丁目4番13号	月～金	9:00-15:00	土日祝及び 12月31日～ 1月3日	011-663-661 1
	宮の沢支店	札幌市	西区発寒6条10丁目1番27号	月～金	9:00-15:00	土日祝及び 12月31日～ 1月3日	011-663-303 3
	琴似支店	札幌市	西区山の手3条1丁目3-22	月～金	9:00-15:00	土日祝日及び 12月31日～ 1月3日	011-631-031 1
(株)北海道銀行	西野支店	札幌市	西区西野3条3丁目2-10	月～金	9:00-15:00	土日祝日及び 12月31日～ 1月3日	011-663-212 1
	八軒支店	札幌市	西区八軒1条西1丁目	月～金	9:00-15:00	土日祝日及び 12月31日～ 1月3日	011-621-665 5
一般社団法人北海道警友会	北海道警友会札幌西支部	札幌市	西区西野2条5丁目3-60西警察署内	月～金	9:00-16:30	土日祝日振 替日及び12 月29日～1 月3日	011-666-011 0
株式会社鉄工団地自動車学園	株式会社鉄工団地自動車学園	札幌市	北海道札幌市西区発寒16条13丁目1-10	月～土	9:00-16:00	日及び祝日	011-663-141 4